

# 2011-2012 島根大学

大学概要

PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY





## 学生満足度日本一、地域貢献を合言葉に

国立大学法人の第2期中期目標・計画期間が始まり、2年目を迎えました。いよいよ、それぞれの国立大学の力量が問われる重要な時期となりました。

島根大学はその存在意義をなお一層明確にし、社会からの期待に応えていきます。教職員の協働のもとに、本学の理念を端的に表現する標語である「人とともに 地域とともに 島根大学」の精神を強く意識しながら、人財の養成、地域の発展に向かって邁進します。

2008年4月に本学の方向性を明文化した「大学憲章」を制定しました。また、この憲章の実現のためのアクションプランを策定し、中期計画と連動させつつ着実に取り組んでいるところです。中でも、「学生満足度日本一」と「地域貢献」をキーワードにした施策に特に力点を置いています。教育研究の質の向上のみならず、学生及び地域のみならずの満足度向上のため、教職員一体となって取り組む意思表示でもあります。教育、研究をととして社会貢献することこそが島根大学の使命であると考えています。皆さまがたの一層のご支援をお願い申し上げます。

島根大学長 山本 廣基

## PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY CONTENTS

- 01 学長メッセージ
- 02 島根大学憲章
- 03 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
- 05 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
- 07 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
- 09 アジアをはじめとする諸外国との交流の推進
- 11 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
- 13 法文学部・人文社会科学研究科
- 14 教育学部・教育学研究科
- 15 医学部・医学系研究科
- 16 医学部附属病院
- 17 総合理工学部・総合理工学研究科
- 18 生物資源科学部・生物資源科学研究科
- 19 法務研究科
- 20 キャンパスマップ(松江)／附属図書館(本館・松江)
- 21 キャンパスマップ(出雲)／附属図書館(医学図書館・出雲)
- 22 学内共同教育研究施設等

## データブック

- 24 沿革・学年暦
- 25 沿革図
- 27 運営組織図
- 29 役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員
- 31 教職員数
- 32 学部・大学院
- 33 附属図書館
- 34 附属病院
- 35 学生数／附属学校児童・生徒・幼児数
- 37 入試状況
- 41 卒業者数・修了者数
- 43 卒業・修了後の状況
- 45 公開講座・公開授業
- 47 科学研究費補助金等の受入状況
- 48 収入・支出決算額
- 49 外国人留学生の受入状況
- 50 留学状況・短期海外研修への参加状況／奨学生数
- 51 定期刊行文献
- 52 土地・建物
- 53 連絡先一覧
- 54 アクセス

## 島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

### 1 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学は、深い教養に裏づけられた高い公共性・倫理性の涵養を教育の基礎に置き、現代社会を担う高度な専門性を身につけた人材の養成を行う。

島根大学は、学生が、山陰の豊かな自然、歴史と文化の中で、学修や関連する諸活動を通して積極的に社会に関わりながら、自ら主体的に学び、自律的人格として自己研鑽に努めるための環境を提供する。

### 2 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

島根大学は、社会の多面的要請に応えうる多様な分野の研究を推進するとともに、分野間の融合による特色ある研究を強化し、国際的に通用する創造性豊かな研究拠点を構築する。

島根大学は、社会の要請に応え、地域課題に立脚した特色ある研究を推進する。

### 3 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

島根大学は、教育・学修、研究、医療を通して学術研究の成果を広く社会に還元する。

島根大学は、市民と連携・協力して、地域社会に生起する諸課題の解決に努め、豊かな社会の発展に寄与する。

### 4 アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

島根大学は、地域における国際的な拠点大学として、アジアをはじめとする国際社会に広く目を向け、価値ある情報発信と学術・文化・人材の交流を推進することによって、国際社会の平和と発展に貢献する。

### 5 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

島根大学は、真理探究の精神を尊び、学問の自由と人権を尊重するとともに、環境との調和を図り、学問の府にふさわしい基盤を整える。

島根大学は、学内外の意見を十分に反映させつつ透明性の高い、機動的な運営を行う。

## 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学の知的及び人的資源を活用して、多様化し変動し、さらにグローバル化する現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

このため、入口から出口までの優れた教育プログラムを提供し、成果を着実に積み上げることで、地方における総合大学としての存在意義と社会的評価の確立とともに、学生の立場に立った大学づくりを目指します。

### 教養教育

人と世界への理解を深める

大学の教養教育は、総合的な判断力と豊かな人間性を身につけた社会人の養成、専門教育への橋渡しを目的に、4年ないし6年一貫教育の中で行われ、幅広く充実した授業を提供しています。これからの大学教育には、学生や教育内容の変化に対応して、教養教育の重視がますます望まれています。生涯学習や大学教育の基盤となる「基礎教育科目」、全人的教育として知性・感性・徳性を養う「共通教養科目」、専門教育へ繋がる「専門基礎教育科目」を通してこの課題に応えます。



今後ますます重要視される教養教育

### 学部教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

現代社会は、様々な分野で起こる問題を理性的に、創造的に解決する力を求めています。その力を支えるのは、深い専門知識、広い分野、総合的な判断力です。島根大学は、教養教育から学部教育へ、基礎から専門へと体系的に深化するカリキュラムに沿って一貫した教育を行っています。

個性豊かに専門性を追求し、現代社会の多面的ニーズに応えます。

- 法文学部** 人を知り、人を創る
- 教育学部** 体験が育む、プロの教育実践力
- 医学部** 人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成
- 総合理工学部** 科学・技術が創る人間の未来
- 生物資源科学部** “いのち”あふれる地球を育む



### 特色ある全学教育プログラム

大学で学ぶ力を身につけるー初年次教育プログラム・補完教育プログラム

本学では、全学で初年次教育プログラムを展開しています。1年生を対象に、レポート制作や口頭発表等、大学で学ぶ上で必要な技術を習得し、これまでの受身的な学習観から主体的に学ぶ姿勢・意欲を身につけることを目的とした高校と大学を接続する教育プログラムです。

同級生との仲間作りや教員との密なコミュニケーションを促進し、大学における「居場所づくり」を行うほか、専門教育へのやる気を喚起することで新しい環境での円滑なスタートを応援します。また、授業の内容をより理解できるように、英語、数学、物理、化学の教科に関して授業外の学修サポートプログラムも設けています。両教育プログラムは教育開発センターが企画・コーディネートを実施し、島大生らしく学ぶための基礎作りをサポートしています。



島根に学び主体性を育むーフィールド学習教育プログラム

キャンパスから飛び出して、人と触れ合い、自然と触れ合い、文化・歴史と触れ合いながら学問する。これが島根大学のフィールド学習教育プログラムです。学生は、本学が位置する島根県の豊かな自然環境、社会的・文化的環境を「エリア・キャンパス」と見立てて、地域の方々や様々なものと実際に触れ合い、知識と体験を連動させながら学習をします。学生がそれぞれの個性を発揮し、自分自身の問題を見つけ、教員を含む仲間と力を合わせてその学生なりの答えを見つける。このような問題発見・解決型学習は、その学習結果のみならず、プロセスそのものがフィールド学習の学びの対象となります。このような、教室では得難い多面的な学びを島根大学では積極的に導入し、サポートしています。



環境マインドを育てるー環境教育プログラム

松江キャンパスでは平成18年3月、出雲キャンパスでは平成20年3月に環境マネジメントシステム(国際規格ISO14001準拠)を取得しました。附属病院を含む総合大学でこの規格を取得したのは、全国でも本学が初めての事例です。これを受けてより環境に配慮し、そして自発的に行動する環境マインドを育む取組みが全学で行われています。このような力を養う環境教育についても、コア科目「環境問題通論」を初めとした多数の授業科目が開講されており、それらが「環境関連科目ガイド」として体系化されています。



## 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。

また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切に学風の構築を行います。

### 学部の枠を超えた研究活動「プロジェクト研究推進機構」

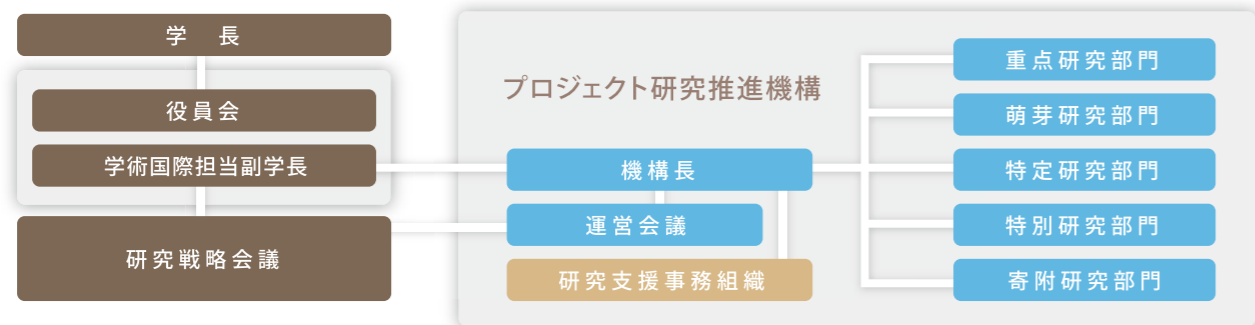
#### 自然環境と人間の調和を実現する先端的研究

次のような領域について全学的に取り組むべき具体的研究テーマを設定し、本学の特徴ある研究を集中的な経費配分のもとで推進しています。

- 地域社会の課題に対応し、産学官が連携して学術的・文化的・経済的価値を創出する研究
- 医学系と人文社会科学系、自然科学系、工学系の連携融合によって新たな展開が期待される過疎・高齢化等の諸問題の解決を目指した研究
- 本学の研究業績の蓄積・立地条件等を活かした国際的に通用する創造的な研究

重点的に取り組む研究プロジェクトは「プロジェクト研究推進機構」の次のような各部門に位置づけられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。

重点研究部門	中期計画に沿った具体的研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点をめざす研究プロジェクトで構成されます。
萌芽研究部門	数人規模の個別テーマや小規模な学際的テーマで、近い将来本学の重点研究プロジェクトへの発展が期待される研究プロジェクトで構成されます。
特定研究部門	本学が地域貢献、国際貢献等の目的で政策的に取り組むべき研究プロジェクトで構成されます。
特別研究部門	既に外部資金等を獲得している研究のうち、本学が重要な研究と位置付け学内外に向けて情報発信することとした研究プロジェクトで構成されます。
寄附研究部門	外部からの寄附によって設置される研究プロジェクトで構成されます。



### 平成23年度 重点研究プロジェクト

#### 山陰地方における地域社会の存立基盤とその歴史的転換に関する研究

##### 歴史的分析和現状分析から山陰地方における諸課題の解決を目指す

現在、山陰地方は人口の減少や過疎化をはじめとした諸課題を抱えています。本研究では、これまで島根大学が取り組んできた山陰地方を対象とする共同研究の成果を継承し、同地方が直面する課題の解決を目指します。

山陰地方(特に石見東部海岸部)における地域社会の存立基盤の変容を3期に分け、人口の増減、過疎化の状況や消滅集落を把握し、諸産業の盛衰について調査を行います。その成果をもとに、流通・交通の変化や自治体の経済政策、産業の担い手育成、金融資本の動向等を総合的に把握し、歴史的分析和現状分析の結合を通じて過去の経済政策の効果を検証します。併せて、特定地域における人口の将来予測や想定される事態予測を行うことで、山陰地方における地域社会の未来像を示すとともに、産業の担い手育成や自治体等の政策に関しても提言を行うことを目指します。また、本研究の推進担当者は30~40代が中心であり、若手研究者の育成も期待されます。



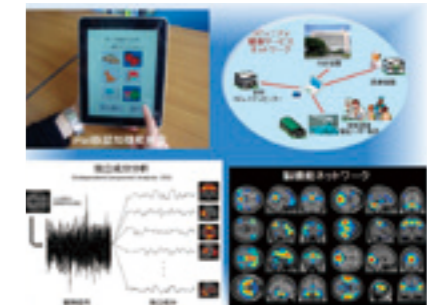
大田市温泉津町今浦の海岸

#### コホート研究プラットフォームを活用した高齢者難治性疾患予防研究

##### 医学・社会医学を統合した学際的研究により健康長寿社会を目指す

島根県は日本でも有数の高齢県であり、今後さらに高齢化が進むことから認知症の予防は最重要課題になると予想されます。認知機能低下を予防することができれば、本人、家族はもちろん社会的な負担の軽減に繋がることが期待されます。本研究は、高齢化先進地域を多く有する島根県に立地する大学の特性を活かし、先進的な研究と地域貢献を両立させようとする取り組みです。

これまで培ってきたコホート研究を継続し、予後調査も含め内容のさらなる充実を図ります。また、認知症予防のための体制構築を試みるとともに、認知機能低下に関する学際的な学術研究を推進します。コホートの整備を進めることで、同様の研究を行うチームとの国際的な共同研究を促進し、「10万人コホート」のようなナショナルプロジェクトへの参画も視野に入れるほか、医学部や人文社会科学系の学生に健康調査やデータ解析等を体験させることで、「現場体験」に基づく教育も実施します。



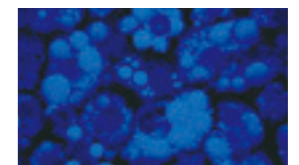
※コホート…特定の属性や外的条件(例えば地域)におかれた集団を意味する

#### S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

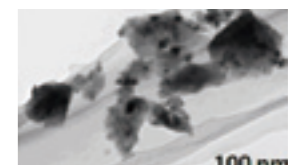
##### 島根大学発のナノテク材料・技術でイノベーションの創出を目指す

医・理工・農連携のもと、島根大学が開発してきた「低コスト」「簡易」「実用性」、そして「安心」「安全」な技術開発を基盤とし、低炭素化社会や健康長寿社会の実現に向けたイノベーションの創出を目指すプロジェクトです。これまで島根大学が取り組んできた「S-ナノテク」、「S-匠ナノメディシン」プロジェクトを継承し、更なる発展を目指します。

本プロジェクトは、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、基盤技術の3つのグループから構成されます。島根大学が開発した独自のナノ材料をもとに、「グリーン」では、低コスト太陽電池や新しい蓄電・熱電技術の開発、「ライフ」では、ナノ材料による早期診断・治療技術、食品応用技術等の開発を目指します。また「基盤技術」では、材料・評価の基盤技術の開発を行います。これらを継続的に発展させるための学内連携・連携教育を展開し、次なる大型研究プロジェクトへと発展することを目指します。



酸化亜鉛ナノ粒子による脂肪細胞の可視化



新規チタン酸バリウム系誘電体

## 地域問題の解決に向けた 社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という大学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探求するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

### 地域に飛び出す学生たち

#### スポーツを通じた交流

ボート部は水の都ならではの行事「レガッタ」の運営に参加するとともに、ボート競技の普及活動に積極的に関わっています。さらに各種スポーツ競技団体は、地域で開催される競技会へ補助員として参加、また学校等に出向いて学童に実技指導等を行っています。



#### ボランティア活動

ボランティアに取り組む学生が多いのも島大の特徴の1つです。療養所や保育園との交流、遊びを通じて世代間交流を図るプレブレまっすえキッズ、献血推進サークル「ぐっば」等々、笑顔と心で地域との交流を深めています。またボランティア活動やサークル活動などの正課以外の諸活動を頑張る学生にポイントを付与することにより応援する、ピットポイントという大学独自の制度があります。  
<http://shiengp2.jn.shimane-u.ac.jp>



### 大学の開放

#### 公開講座・公開授業

島根大学にはバラエティーに富んだ公開講座・公開授業、そして市民に開放された施設が用意されています。生涯学習教育研究センターを窓口、これまで多くの公開講座・公開授業を実施してきました。これからもさまざまな講座や授業、イベントを企画提供し、地域市民の生涯学習意欲に応じていきたいと考えています。



サツマイモを栽培しよう



脂質栄養と健康



理科実験講座

#### センターフェスティバル「農場まつり」

松江市上本庄町の「附属生物資源教育研究センター」(通称:本庄農場)において、春と秋に農場まつりを実施しています。地域の人々にとっても恒例行事となっています。



### 産学連携の具体例

#### 生活習慣病とアレルギー疾患を予防する「えごま玉子」の研究開発

医学部橋本道男准教授・森田栄伸教授は、n-3脂肪酸である $\alpha$ -リノレン酸やドコサヘキサエン酸(DHA)が多く含まれる「えごま玉子」を島根県、(有)旭養鶏舎、(株)山陰ネッカーリッチ、JA石見銀山等と共同開発・商品化し、販売しました。2007年に橋本道男准教授はエゴマ種子混合飼で鶏を飼育し産出された卵には、その機能性が注目されている $\alpha$ -リノレン酸やDHAが多く含まれることを実証し、2008年には島根県商工連合会の「しまね地域資源産業活性化基金助成交付金事業」として採択されました。その事業により、(有)旭養鶏舎において産出された $\alpha$ -リノレン酸強化鶏卵を毎日2個ずつ102名の被験者に供与し、血液中の生化学的・一般検査に加えアレルギー抗体価と脂肪酸分析を行いました。その結果、6ヶ月間「えごま玉子」を摂取することで赤血球膜の $\alpha$ -リノレン酸やDHA等のn-3脂肪酸が増加し、血糖値の上昇が抑制され、さらには血清抗原特異的IgE値が低下することが分かりました。2009年9月から(有)旭養鶏舎が $\alpha$ -リノレン酸強化鶏卵「しまねのえごま玉子」として販売を開始、全国に販売拡大を図っています。この「えごま玉子」は地域振興への貢献により、平成21年度島根県の「安全で美味しい島根の特産品」第一号に認証されました。



#### 高温好気発酵分解プラントによる有機性廃棄物の減容化と地域内循環モデル

近年、わが国では年間4億7千万tもの廃棄物が発生しており、その内有機性廃棄物の主な発生量は汚泥が1億9千万t、家畜糞尿が8千9百万tで、年間の有機性廃棄物発生量は2億8千万tとなっており、日本の廃棄物総生産量の6割を占めています。これらの多くは現在焼却処分されていますが、周辺の環境や資源保護の観点から好ましいとは言えません。そこで、生物資源科学部附属生物資源教育研究センターの松本真悟准教授は、株式会社ミシマ、日本ミクニヤ株式会社、島根県産業技術センターとの共同研究により、汚泥や生ゴミ等を95%程度減容化する高温好気発酵法を用いた有機性廃棄物分解システムを開発し、中国地方を中心に12の自治体に実用化プラントを導入しました。この発酵分解装置には微生物担体として杉チップを充填しており、脱水ケーキや生ゴミを発酵分解装置に投入し、連続的に60℃の熱風を供給して分解を行い、3~6ヶ月の間隔で残渣を取り出して新たな杉チップと交換します。分解残渣の活用方法の1つに有機質肥料としての利用が可能であり、地域における有機性廃棄物の循環利用の促進が期待されます。既に実用化プラントを導入している松江市では、汚泥及び生ゴミの減容化と残渣の農業利用への展開のモデルケースが検討されており、島根大学発の技術が地域の資源循環型社会構築に向けた施策に大きな役割を果たしています。



発酵分解中の汚泥



有機性廃棄物発酵分解装置



発酵分解残渣を活用した東出雲町でのキャベツ栽培

#### 小規模浄化槽の簡易な高度処理技術の開発

総合理工学部の清家泰教授と奥村稔教授は、島根大学「萌芽研究部門」研究プロジェクトにより、既存のBOD対応型浄化槽に装着できるメンテナンスの容易な高度処理装置(オプション型)を開発しました。本システムは、全国有数の高度処理性能を誇る「宍道湖流域下水道東部浄化センター」の目標放流水濃度(0.4 mgP/L及び8 mgN/L)に匹敵する性能(0.3~0.6 mgP/L及び6~9 mgN/L)を達成しています。

島根県の宍道湖・中海圏において、富栄養化の原因である窒素(N)、りん(P)の高度処理が行われている汚水処理施設は宍道湖流域下水道東部浄化センターに限られ、その他の合併処理浄化槽等小規模施設では、ほとんどがBOD対応型で、N、Pについては無機化のみで垂れ流し状態にあるのが実態です。そこには、東部浄化センターで行われているMAP法(脱リン技術)のような高度処理は、メンテナンス等維持管理に専門的な知識や高度な技術を要するため、小規模施設には簡単に適用できないという問題点があり、この点が小規模施設の高度処理化を困難にしてきた最大の理由でした。清家教授と奥村教授が共同開発した高度処理システムは、この問題点をクリアするものであり、実用化に向けてさらに研究を進めているところです。本システムは、宍道湖・中海のみならず、他湖沼の水質保全にも有効な技術であり、早期実用化が期待されています。



制御装置



脱リン装置設置状況

## アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

最先端の学術・文化に関する情報を世界に発信するとともに、研究者・技術者・学生による学術・技術・文化の交流を通じて国際社会に貢献します。特に、環日本海地域との国際共同研究、学術交流及び留学生交流に重点を置きます。人情に厚く、住みやすい島根県に所在する本学の歴史的・地理的特性を活かして、日本の自然と文化に触れてもらい、外国人研究者との共同研究や「未来からの大使」としての留学生の教育や交流などを通じて大学の最新情報を世界に発信します。

### 学生交流

島根大学では、海外の協定校のうち「学生交流に関する協定書覚書」を締結している協定校から交換留学生を受け入れるのと同時に、島根大学の学生を学籍上「在学」の扱いで、その大学に交換留学生として派遣することにより学生の相互交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の長期休暇の時期に米国、カナダ、韓国、中国での海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、文化講座の受講、現地学生との交流会等盛りだくさんの内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。学生の国際通用性を高めるため、2011年に本学独自の奨学金制度「島根大学海外派遣支援制度」を創設し、海外留学・研修を推進しています。

#### 中国 寧夏大学との連携による夏期研修

寧夏回族自治区にある寧夏大学と北京で約10日間に渡る短期研修を実施しています。この研修では、特別講義、名所旧跡見学、中国人学生との交流会等を通じて、中国に対する理解を深めることができます。また、日本と中国との違いだけでなく、中国国内においても西北部の銀川市と首都の北京市では、文化や気候・風土に非常に大きな違いがあることが体験できます。



修了証書受領後の記念撮影

#### 米国 アーカンソー大学との連携による春期海外研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約3週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、豊かな自然環境の中での野外活動等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



レセプションの様子

### ■ 交流協定締結校

2011.5.1現在

大学等名	国名	協定締結日	大学等名	国名	協定締結日
セントラル・フロンティア大学	アメリカ合衆国	1982.3.26	山東大学	中華人民共和国	2005.7.20
ケント州立大学	〃	1982.8.31	浙江大學教育學院	〃	2006.3.31
カリフォルニア大学デイビス校	〃	1986.2.11	釜山教育大学校	大韓民国	1990.3.23
アーカンソー大学	〃	1993.3.1	慶尚大学校	〃	1991.3.5
コロラド・デンバー大学医学部	〃	2006.2.23	慶北大学校	〃	1991.3.6
テキサス大学ダラス校	〃	2007.8.10	ソウル産業大学校	〃	1998.4.22
フロリダ大学教養学部言語文学文化学科	〃	2009.12.4	延世大学校	〃	1989.6.3
アリゾナ大学	〃	2010.5.26	ジャン・ムーラン・リヨン第3大学	フランス	1990.11.24
東北林業大学	中華人民共和国	1989.12.28	オルレアン大学	〃	2002.7.12
南京林業大学	〃	1993.4.15	モンゴル科学技術大学	モンゴル	1999.3.24
中国農業大学	〃	1996.12.29	モンゴル健康科学大学	〃	2002.10.4
寧夏大学	〃	1997.8.18	トリバン大学	ネパール	1991.12.8
北京林業大学	〃	1997.8.23	アングラダス大学	インドネシア	1997.5.6
吉林大学	〃	1999.2.1	ハノイ医科大学	ベトナム	2005.10.17
河北師範大学	〃	2002.7.29	トリア大学第二学部	ドイツ	2008.11.20
大連大学	〃	2003.6.30	リンショーピン大学	スウェーデン	2005.4.21
上海交通大学医学院	〃	1987.6.27	キングモンクット工科大学	タイ	2010.12.23
寧夏医科大学	〃	2004.2.27	トンプリ校生物資源テクノロジー研究科	〃	2011.2.2
北京師範大学	〃	2004.3.18	マヒドン大学シリラジ病院	〃	2011.2.2
中国人民大学经济学院	〃	2005.4.14	ダッカ大学	バングラデシュ	2011.4.12



交流協定締結校がある国

### 島根大学・寧夏大学国際共同研究所

1987年、本農学部(現生物資源科学部)の教員が外国人として初めて中国寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行いました。それがきっかけになり、本学と寧夏大学との研究交流が始まりました。研究交流開始10周年にあたる1997年には、両大学間で交流協定が締結されました。2005年9月には、両大学間で長年続けてきた研究交流を本格発展させると共に、人材育成事業に協力するため、寧夏大学キャンパス内に島根大学・寧夏大学国際共同研究所が完成しました。この研究所では、都市と農村との地域間格差問題、中山間地域(条件不利地域)の活性化、開発と環境問題などを主テーマとして共同研究を行い、これまで数回にわたって学際的な国際シンポジウムを開催してきました。2009年11月には、『条件不利地区の振興と持続的な発展』をテーマにした国際シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムでは、農業・農村の振興と持続可能な発展に関する実証的研究等の報告や医学・公衆衛生分野の観点から農村開発と生活福祉に関する提案が両大学の研究者から行われ、新たな研究交流の萌芽が見られました。

島根大学は今後も当研究所での研究成果を世界に発信するとともに、国際交流と人材育成を積極的に展開し、当研究所を中国・西部地域研究の拠点として活用していく予定です。



### 研究所の業務内容

- 研究事業(主なテーマ)
  - 「寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続可能な発展に関する研究」
  - 「生態系・環境の保護と再生に関する調査研究」
  - 「農村経済と社会発展の比較研究に関する調査研究」等
- 学術交流、国際学術フォーラムの開催(日本・中国)
- 図書館資料の蓄積と提供
- 島根県、松江市等の国際交流事業への協力

## 学問の自由と人権の尊重、 社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実に図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多面的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実に努めます。

### 学生・教職員みんなの「声」が創る島根大学



学生の意見を大学教育改善に取り入れる全学的取り組みは、教育開発センターを中心として2002年度より「学生との意見交換会」として開始されました。その後「学生による教育座談会—語ろう!島根大学—」(2006年度～)、「We are 島大生!」(2008年度～)へと常に進化しています。この企画は、島根大学で学ぶ過程で抱く様々な疑問や葛藤等について、学部・学科・学年の枠を超えて議論・発表することを通じて、教育・学修環境改善の示唆を得ることや、島大生としてのアイデンティティ・帰属意識を高め、自信を付けて主体的に大学での学びに取り組んでもらうことを目指しています。2008年度から「We cam. プロジェクト」なる組織を立ち上げて学生メンバーと一緒に企画・運営してきました。「あなたが動けば『授業』は変わる!」(2008年度)、「あなたが動けば『大学生生活』は変わる!」(2009年度)、「広がれ!学生の輪」(2010年度)をメインテーマに設定し、ワークショップやゲームを交えて参加者間で議論・発表を行いました。2010年度には「大学教育合同フォーラムin山陰2011」を開催し、初年次・高大接続教育、授業評価アンケート、修学サポート、SD(職員の教育支援能力開発)の現状と課題という4つのテーマで山陰の大学教員間で議論が行われました。また、2006年度から4年に1度「学生生活満足度調査」(全学調査)を実施しており、多くの学生の生の声を掲げ上げる工夫・努力をしています。このように島根大学では、学生の声を真摯に受け止めながら、よりよい大学環境づくりに邁進しています。

### 全国初、附属病院を含む全学でISO14001の認証取得

松江キャンパスでは、2006年3月に川津地区についてISO14001の認証を取得しました。2007年3月には大輪地区(附属小学校、附属中学校、附属幼稚園)及び本庄地区(本庄総合農場)も認証され、認証範囲を拡大しました。2008年3月には出雲キャンパスについても認証され、全学での認証を取得しました。

医学部及び附属病院を含む大学全体としての認証取得は、国立大学の中でも全国初のことであり、これを機に今後も環境に配慮した活動に努めます。



### ワークライフバランスの実現

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実に努めています。

男女共同参画推進室では、本学の就業規則等を基に妊娠、出産、育児及び介護に関する概略を紹介するパンフレット並びに育児休業を取得したことがある本学男性職員から寄せられた子育てに関するコラムを集録した冊子「育児するお父さんへのエール」を作成し、学内の教職員に配付しています。

また、松江キャンパスでは、派遣型病後児保育を実施し、出雲キャンパスでは「病児・病後児保育」及び公設の学童保育の終了時刻以後に保護者の勤務終了まで子どもを預かる「学童の一時保育」を実施しています。附属病院設置の保育所では、教職員からの要望に応じて、終夜保育も開始しました。

医学部附属病院では、文部科学省の地域医療人GPの獲得で開室した「女性スタッフ支援室」を、補助事業終了に伴い「ワークライフバランス支援室」として改組しました。ワークライフバランス支援室では働きやすく学びやすい医学部、附属病院をめざして様々な事業をおこなっています。病児・病後児保育や学童一時保育などの育児支援のほか、カウンセラーによる相談、講演会の実施などです。ウェブサイトや毎月発行するメールマガジンを通じて就労環境の改善や、仕事と家庭の両立に関する情報発信もしています。医育機関の部署であることから研修医・学生を対象としたキャリア教育にも力を入れています。先輩医療職から体験談を聞く「ランチョントーク」を毎月実施し、学生時代から将来医療職として働く心構えやキャリアプランについて自ら考える機会を与えています。



冊子「育児するお父さんへのエール」



病児・病後児保育



毎月実施される「ランチョントーク」

### 環境に関する島根大学の社会貢献

島根大学では、地域社会の一員として、地域のみなさんの環境問題に関する声に耳を傾けます。また、環境教育・研究の成果を地域に向けて発信していきます。

学内のコミュニケーションについては、「キャンパス環境投書箱」をweb上(学内限定コンテンツ)に設置し、また、屋外でランチミーティングを開催するなど、学内の環境問題について広く学生・教職員の意見を集約しています。

また、近隣県内外の学校・一般企業・地方自治体・各種団体を対象に「出前講義」を行い、本学で行われている環境に関する研究について発信しています。



# 法文学部 人文社会科学研究科

Faculty of Law and Literature  
Graduate School of Humanities and Social Science

## 人を知り、人を創る

私たちは、他者との関わりのなかで自己という存在を強く意識しヒトから人へと成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流をとり入れた法文学部をステップとして、世界へ、人間探求へと飛躍してください。



■法文学部HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>

### 人文社会科学研究科

法経専攻

言語・社会文化専攻

### 法文学部

法経学科

社会文化学科

言語文化学科

## 法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。また地域には、環境、少子高齢化、地方分権、中山間地域、地域振興等、解決すべき課題が山積しています。これらの課題の解決に必要な法学・経済学の基礎的な知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養うことによって、国・地方公共団体等の行政部門やNPOで活躍できる人を育成します。



社会文化学科は現代社会・歴史と考古・福祉社会の3つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

### 現代社会コース

人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

### 歴史と考古コース

歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本考古学を中心として、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。

### 福祉社会コース

現代社会の重要テーマである社会福祉の問題に取り組む、地域社会に貢献できる人材の養成を目指します。講義や演習に加え、福祉現場での実習を通して社会福祉の全体像を学ぶことができます。本コースでは所定の科目を履修すれば、社会福祉士国家試験の受験資格が取得できます。



言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する分野を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めていきます。

### 日本・東アジア言語文化分野

日本語学・日本文学の分野では、古代から現代に至るまでの日本語と、それによって生み出された文学について幅広く学ぶことができます。中国語学・中国文学の分野では、遠く神話、甲骨文字の時代から、現在活躍中の中国作家の作品に至るまで、広く研究することができます。

### 英米・ヨーロッパ言語文化分野

イギリスとアメリカ、及びドイツ・フランス語圏の言語、文学、文化の研究を通して幅広い視野、分析力を身につけます。また、様々な演習の授業を通して各言語の読解力とコミュニケーション力を高めます。また、異文化交流に積極的な学生が多く、毎年何人も語学研修や海外留学に出かけています。

### 文化の創造と理解分野

人が生み出したものを理解し、その理解をもとにしてさらに創造する一この分野では、継承・衝突・創造が繰り返す人間の文化活動を研究の対象にします。また、芸術・文学・映画・音楽などの作品にも実際に触れながら、文化理解のための技術を習得していきます。



## 大学院

## 人文社会科学研究科

- 法経専攻(法政コース・地域経済コース)
- 言語・社会文化専攻(言語文化コース・社会文化コース)

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース(法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース)のいずれかに属し研究のスキルをみがき、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■人文社会科学研究科HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/categories/daigakuin/>

# 教育学部 教育学研究科

Faculty of Education  
Graduate School of Education

## 体験が育む、プロの教育実践力

全国で初めて教員養成に特化した山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取り組むとともに、1000時間体験学修等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限らない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。



■教育学部HP <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>

### 教育学研究科

教育実践開発専攻

教育内容開発専攻

### 教育学部

学校教育課程

- 初等教育開発専攻 ○特別支援教育専攻 ○心理・臨床専攻\*
- 言語教育専攻 ○共生社会教育専攻 ○数理基礎教育専攻
- 自然環境教育専攻 ○人間生活環境教育専攻
- 健康・スポーツ教育専攻 ○音楽教育専攻
- 美術教育専攻

\*平成24年度より「臨床心理特別専攻」

## 初等教育開発専攻

教育に関する「理論」(知識)と教育を「実践する力」(技能)を教育現場で融合(駆使)する能力をもった、「小学校教育のプロフェッショナル」の養成を目指します。

## 特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象にした個人差を配慮した指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教師の育成を目指します。

## 心理・臨床専攻

\*平成24年度より「臨床心理特別専攻」

心理学の多様な理論と技法をベースに、教育実践の専門性を発揮できる教師の育成を目指します。平成24年度からは臨床心理学を中心に学べる特別副専攻となります。

### <国語教育コース>

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

### <英語教育コース>

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

## 共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学、政治学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理性を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけた教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教師の育成を目指します。

## 自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

## 人間生活環境教育専攻

教員の養成基盤をくらし、子ども、ものづくりにおき、人間のくらしや生活環境を通じた教育のあり方を学び、子どもたちの創造力と生きる力を引出し、育むための「人間力」を養い、深い専門性と実践力を持った教員を養成します。

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもを対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じた適切な指導が行える専門的能力を育成します。

## 音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽学、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野を深く追求するとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。

## 美術教育専攻

基礎造形能力の修得、専門性の深化、豊富な臨床的教育体験による美術教育理論と実践的授業展開力の強化等を目指すカリキュラムを用意しています。

## 大学院

## 教育学研究科

●教育実践開発専攻 ●教育内容開発専攻

急速に国際化、情報化が進化する現代社会において、新時代を担うべき優れた教員を養成することが重要課題となっています。本研究科は、「スクール・リーダー」となる高度な資質を有する学校教員の養成を目的とし、山陰地域における教員養成基幹大学院として現職教員及び学部卒業生の双方を対象に高度な専門性に裏打ちされた、地域の教育界を担う人材の育成を目指しています。そのために、学校教育現場における学校教育研究、授業研究の力を養成する「教育実践研究」科目を開設するなど、学部教育のキャリアラムとの有機的関連性を重視しています。また、教職経験3年以上の現職教員を対象に、通常の2年課程に替る「1年短期履修コース」を設置し、教育課程・教育方法等に特段の措置を講じることで現職教員が自ら求める専門職性の向上に努めています。

■教育学研究科HP <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/docs/2011030400034/>



# 医学部 医学系研究科

Faculty of Medicine  
Graduate School of Medical Research

## 次世代を担う医療人の育成と 先進医療の地域への還元

生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、  
広い教養と高い倫理観、科学的な探求心と総合的な判断能力を身につけ、  
時代の要請に応じて社会に貢献する医師・看護師を養成することを目指しています。

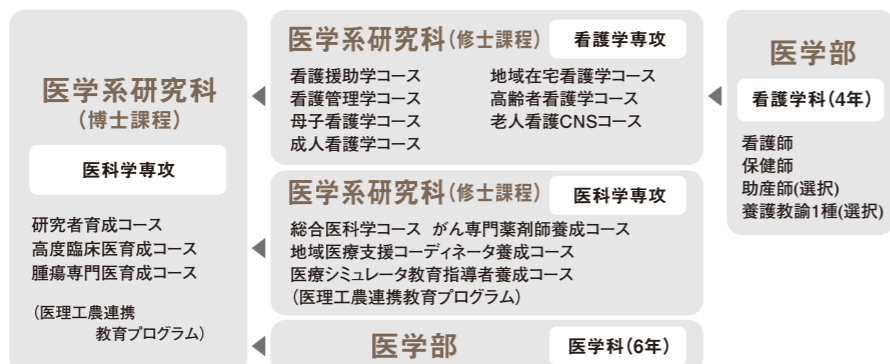


附属病院小児センター

©Mercis bv



■ 医学部HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/>



## 医学科

## 看護学科

人の心がわかる優しさを備え、人々の健全な生活と健康増進に貢献しようとする強い意思をもち、とりわけ地域医療に寄与できる医師の育成を目指しています。このため全国に先駆けて、へき地出身者を対象とした地域枠推薦入試を行い、入学後は地域医療の現場体験学習を重視して、県内の医療機関や福祉施設等において早期医学体験実習や地域医療実習を行っています。

また、臨床医学教育においては問題解決能力を養うべく少人数グループによるチュートリアル教育を導入しています。卒業生は、医師国家試験合格後、大学病院あるいは臨床研修指定病院で臨床研修を行った後、研修を続けながら第一線の医療に従事します。大学院(博士課程)に進学して、研究者あるいは高度臨床医・腫瘍専門医を目指す道も開かれています。



医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の看護に対するニーズは益々増大し、多様化してきています。

看護学科ではこうした社会の要請に応え、医療機関であれ地域であれ、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職を養成したいと考えています。

課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者との信頼関係を構築していく対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられるよう、少人数による課題解決型の演習や、病院や保健所、社会福祉施設等での実践をとおして学ぶ臨地実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を設定した教育に力を注いでいます。



## 大学院 医学系研究科

- 《博士課程》● 医科学専攻 (研究者育成コース 高度臨床医育成コース 腫瘍専門医育成コース)
- 《修士課程》● 医科学専攻 (総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース 地域医療支援コーディネータ養成コース 医療シミュレータ教育指導者養成コース)
- 看護学専攻 (看護援助学コース 看護管理学コース 母子看護学コース 成人看護学コース 地域在宅看護学コース 高齢者看護学コース 老人看護CNSコース)

医学及び看護学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、医学の分野においては、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた優れた研究者の養成ならびに優れた研究能力を備えた臨床医・腫瘍専門医の育成を、看護学の分野においては、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力と、人間性を備えた優れた研究者又は高度専門職業人の養成を目的とし、併せて医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与することを使命としています。

■ 医学系研究科HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html>

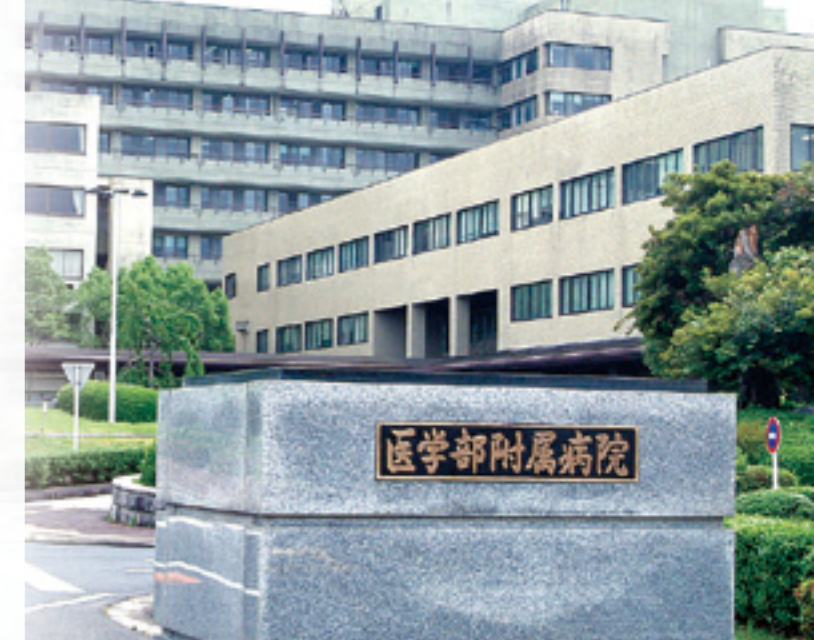
# 医学部附属病院

University Hospital

## 理念『地域医療と先進医療が 調和する大学病院』

### 目標

- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進



■ 医学部附属病院HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html>

昭和54年に開設以来、県下唯一の特定機能病院として医療人教育、高度医療提供、臨床研究に当たってきました。都道府県がん診療拠点病院としてがんプロフェッショナル養成プログラム、大学病院連携高度医療人養成プランを推進中です。「病院機能評価」、「プライバシーマーク」、大学病院初の「働きやすい病院評価」、附属病院として全国初の「ISO14001(環境マネジメント)」も取得し、卒後臨床研修評価機構の認定も受けています。文科省GP以降も多くのスタッフ、学生を海外病院研修に派遣し実践的臨床教育に取り組んでいます。2011年6月に緩和ケア病棟と腫瘍センター病棟の併設やチーム医療を重視した重症度別、機能別に特化した新病棟が完成しました。耐震・免震は元より地下水の活用、自家発電機能も拡充し防災対応機能も充実させています。

## 「働きやすい病院評価」「病院機能評価(Ver5.0)」

平成19年3月に、女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を受け、平成20年3月には、病院の現状を様々な角度から確認し、基準を満たした病院として「病院機能評価」の認定を受けました。



## 320列MD-CT(多重検出器列CT)

本装置は世界でもトップレベルの超高速・高性能機で、平成22年度に導入しました。心臓全体を0.35秒で撮影可能で冠動脈造影も外来で容易に出来るようになりました。肺や関節などのダイナミックな機能検査にも活用されています。



## クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために平成21年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師と救命救急士の助教による研修を常時行っています。



## 院内保育所「うさぎ保育所」増築

子育て支援の一環として、平成18年に定員25名で開設。保育希望者の増加に伴い、平成21年に定員50名に増築しました。ワークライフバランス支援室の病児保育、学童保育等と共に保育環境の充実に努めています。



## 防災対策

新病棟は耐震・免震は元より、地下水の活用等で大災害に備えた造りとなっています。出雲キャンパスでは日頃からガス発電でコジェネレーション発電しています。非常用自家発電装置は2000kWを約5日間供給可能です。



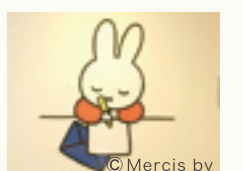
## ボランティアコンサート

病院1階待合ホールで月1回コンサートや落語、手品など多彩なイベントを開催しており、毎月患者さんに楽しみにして頂いています。



## 小児センター病棟にミッフィー

新病棟の小児センターは子供達に大人気のディックブルーナのブルーナカラーとミッフィーでコーディネートしました。病棟全体を飾ったのは世界でも初めての試みです。



© Mercis bv  
附属病院小児センター

# 総合理工学部 総合理工学研究科

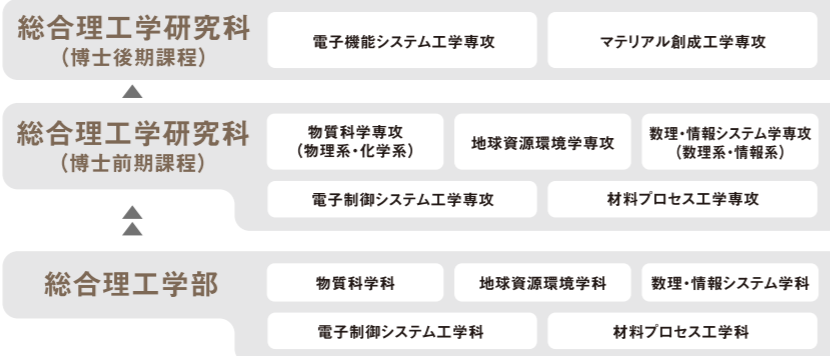
Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering  
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

## 科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、  
未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて  
1つの学部に総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。  
素粒子サイズから地球サイズまで、さまざまな対象を科学的に捉え、  
基礎理論から先端技術への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを  
特色としています。



■総合理工学部HP <http://shimane-riko.jp/>



## 物質科学科

### 物理分野

物理分野では、素粒子論から新素材開発まで、物質に関する  
幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専  
門知識、技術、研究能力を持ち、物質科学の発展に寄与できる技  
術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コ  
ース」は、JABEEの認定を受けています。

### 化学分野

化学分野は、化学の基礎から応用まで深く学びたい人、新機能  
を持つ物質を研究したい人、応用技術を修得したい人のための  
教育を提供します。JABEE対応の教育プログラムに基づいた技術  
者養成を目指す「機能材料化学コース」、幅広い知識を基に多分  
野で活躍できる人材育成を目指す「基礎化学コース」があります。

## 地球資源環境学科

地球資源環境学科は、地球物質システム学、環境地質学、自然災  
害工学の3教育分野からなり、地質学をベースとして、地球のなりた  
ちや天然資源、自然災害工学等について総合的に教育・研究して  
います。本学科では、JABEE認定の技術者教育プログラムを実施  
し、また野外実習や実験を重視したカリキュラムを組んでいます。

## 数理・情報システム学科

### 数理分野

数理分野は、数理構造と数理解析の2コースから構成されま  
す。1年次には数学と情報の基礎を、2年次以降に数理系の専門  
科目を学びます。数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟  
な発想力、適切な判断力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、  
教育を含む諸分野で指導的役割を果たせる人材を育成します。

### 情報分野

情報分野では情報システムコースと情報工学コースの2コ  
ースから構成されています。1年次に数学と情報の基礎を学び、2  
年次以降は主に情報工学に関連する専門科目を学びます。ソフ  
トウェアやハードウェアの研究開発を通じて、国際的に通用する  
技術や幅広い見識を持ち合わせた人材の育成を行っています。

## 電子制御システム工学科

電子制御システム工学科は、電気電子及び機械システムの  
分野にまたがる広い視野と知識、さらにはそれぞれの分野の高  
い専門性の修得を学習・教育目標として、JABEEの教育プロ  
グラムに対応した技術者教育プログラムを実施し、激動の21世紀  
において国際的に通用する技術者の育成を目指しています。

## 材料プロセス工学科

材料プロセス工学科は、健康で快適な生活と、資源循環型社  
会の実現のために材料設計、プロセス設計(生産プロセス設計・  
循環プロセス設計)、製品設計(建築設計・機械設計)の全般に対  
応できる、広い知識と独創性を兼ね備えた人材の育成を目指し  
て、JABEE認定を受けたコースを含め教育を行っています。

## 理工特別コース

「理工特別コース」は既存の5学科7分野を横断する総  
合理工学部の学部共通教育コースです。それぞれの学科・  
分野の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部  
の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。AO入試  
(平成24年度募集より実施)の合格者及び各学科への入  
学者から選抜された優秀な学生に対し、1~2年次の連続  
したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室  
配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究面  
への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、この  
コースの特徴です。

## 大学院 総合理工学研究科

《博士前期課程》●物質科学専攻(物理系・化学系)●地球資源環境学専攻●数理・情報システム学専攻(数理系・情報系)●電子制御システム工学専攻●材料プロセス工学専攻

《博士後期課程》●マテリアル創成工学専攻●電子機能システム工学専攻

総合理工学研究科博士前期課程は5専攻19講座を擁し、学際領域の研究開発やそれに携わる高度技  
術者育成という社会要望に応え、従来の細分化された学問領域にとらわれず、科学技術の総合化を目指す  
新たな理工融合理念に則した研究・育成システムを実践しています。博士後期課程では、さらに高度な研究開発能力を身に付け、科学技術の創造に貢献できる人材を養成します。また、本研究科には外国  
人留学生とともに修学する「英語による「地球」教育研究特別プログラム」や、理工学と医学が融合した分野の教育研究を推進する「理工・医連携プログラム」が設置されています。

■総合理工学研究科HP <http://shimane-riko.jp/graduate/index.html>

# 生物資源科学部 生物資源科学研究所

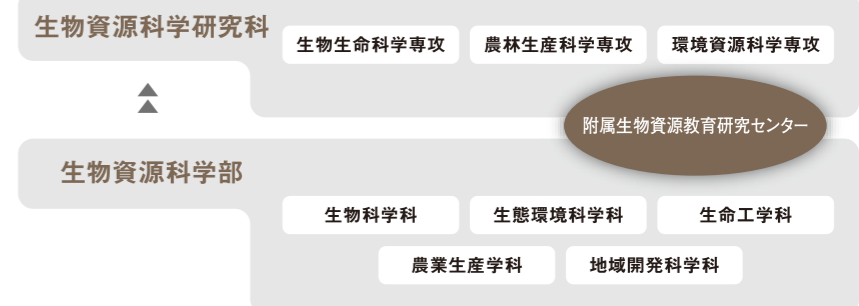
Faculty of Life and Environmental Science  
Graduate School of Life and Environmental Science

## “いのち”あふれる地球を育む

本学部では、生物・生命を、人間社会と広範囲で多様な関係を有する存在という広い意味  
での資源と捉えます。そして生命現象の基本原則から、生物資源の育成、利用、開発保  
全とそれを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。



■生物資源科学部HP <http://www.life.shimane-u.ac.jp/>



## 生物科学科

生物の営みについて総合的  
な知識と理解力を身につけるこ  
とができるよう、基礎から先端  
領域までをカバーするカリキュ  
ラムを用意し、幅広い視野と専  
門の実践力を兼ね備えた人材  
を育成します。学科は「細胞生  
物学講座」と「生物機能講座」  
の2講座編成ですが、カリキュラムにはこの区分がなく、学科全  
体で分子、細胞から生物集団に至る様々な教育研究を行ってい  
ます。島根の自然を扱った研究もこれに含まれます。



## 生態環境科学科

生態系を保全しながら持続  
的に利用するためには、各種の  
生態系(森林、農地、水、土壌、  
動物、微生物等)について正確  
な知識を学び、人間生活と生態  
系との係わりをよく理解する必  
要があります。生態環境科学科  
では、生態系の保全・評価・修  
復・有効利用の実践と、それに貢献できる人材の育成を目的に、  
「環境生物学講座」「生態環境工学講座」「森林環境学講座」の3  
つの講座で教育・研究を行っています。



## 生命工学科

本学科は、ライフサイエンス  
とバイオテクノロジーの分野を  
カバーする先進的な学問領域  
を包括しており、2つの大講座  
からなります。微生物、植物、動  
物を題材として、遺伝子やタン  
パク質の機能を理解し、細胞や  
分子レベルでの解析を通して  
生命現象を解明する基礎的な学問から、人間の生活や産業に貢  
献する医薬品や食品の開発に繋がる応用的な学問まで、幅広い  
教育・研究を行っています。



## 農業生産学科

環境変化に伴う食料生産や、  
品質、安全性の問題等、国内外  
の農業生産現場が抱える問題  
を解決するための教育と研究を  
行っています。「食糧生産学講  
座」はカロリー・タンパク源とな  
る農作物や畜産物の生産につ  
いて、「植物資源開発学講座」は  
園芸作物の生産、保蔵、繁殖、品質改良について、「生産技術管  
理学講座」は農業現場での効率的、先進的な生産管理について研  
究を行っています。



## 地域開発科学科

豊かな地域社会、自然環境の  
保全及び持続可能な農業と農  
村の創造に貢献できる人材を  
育成するため、社会科学の側  
面、工学的側面からの教育によ  
り知識と技術の習得を図りま  
す。「農林・資源経済学講座」で  
は地域社会の発展及び農林水  
産業振興に関する教育・研究を行い、「生物環境情報工学講座」  
と「地域環境工学講座」では自然環境と調和して生産・生活環境  
を向上させる科学技術に関する教育・研究を行っています。



## 附属生物資源教育研究センター

森林科学、農業生産  
科学、海洋生物学の  
三部門からなり、島根  
県の豊かな自然と多様  
な生物の恵みを受  
け継ぎ、その恵み  
を享受し利用するた  
め、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部、中部に  
ある実験農場、隠岐の島にある臨海実験施設を活用し  
て、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる  
教育研究を行っています。



## 大学院 生物資源科学研究所

本研究所では、各専攻それぞれに「課題研究コース」、「学術研究コース」、「地域産業人育成コース」を設け、各人の志向に応じたカリキュラムの選択を可能にしています。課題研究コースでは多様な高度専門職  
業人を養成するための、学術研究コースでは連合大学院博士課程への進学等研究者を目指す人材を養成するための、また、地域産業人育成コースでは地域産業において指導的役割を果たす人材を養成するた  
めの教育プログラムを提供します。また、 Semester制の採用により秋入学を可能にし、社会人や留学生の利便性の向上を図っています。講義では研究科共通科目の必修科目として「科学方法論」や「生物資源科  
学論」を設け、総合科学的な視点を深めるとともに、専攻、コースに応じた研究や演習により、高い独創性と実践力、国際的な対応力を養っています。

■生物資源科学研究所HP <http://www.life.shimane-u.ac.jp/daigakuin/index.html>

# 山陰法科大学院 法務研究科

Graduate school of Law

社会人・未修者の教育へ  
力を発揮する山陰の法科大学院

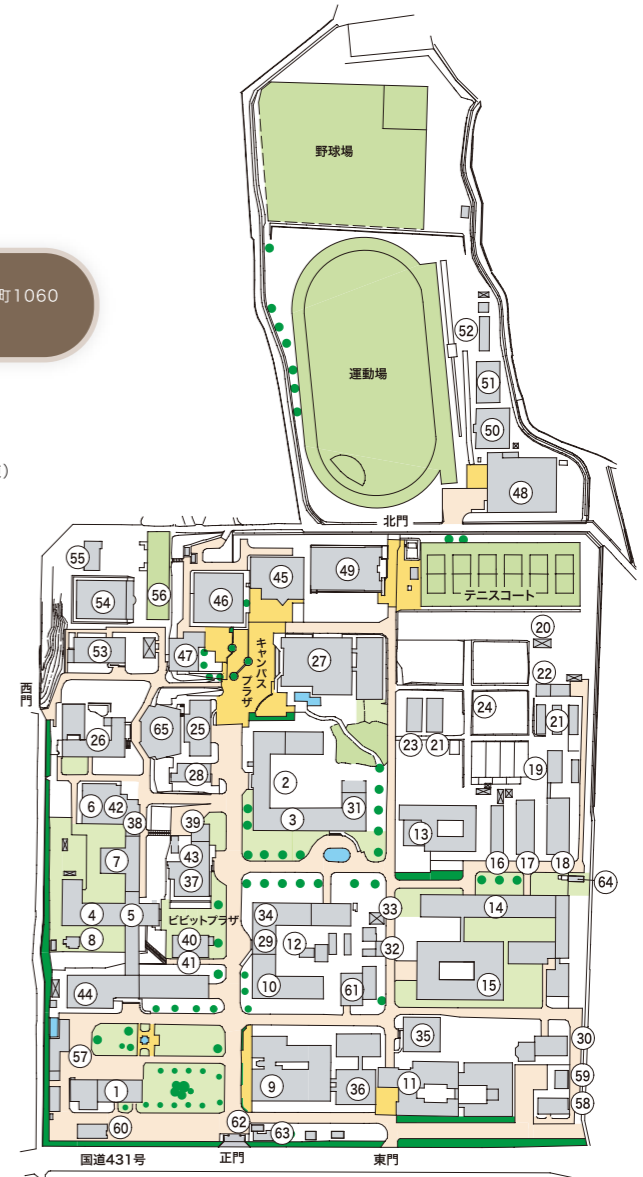


## キャンパスマップ

### 松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060  
TEL.0852-32-6100

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 本部棟             | 33 古代出雲研究施設        |
| 2 法学部棟            | 34 男女共同参画推進室       |
| 3 山陰研究センター        | 35 総合科学研究支援センター    |
| 4 教育学部棟           | 36 総合理工学部1号館(大学院棟) |
| 5 教育学部附属教育支援センター  | 37 学生センター          |
| 6 教育学部附属教師教育センター  | 38 教育開発センター        |
| 7 教育学部附属FD戦略センター  | 39 入試センター          |
| 8 光物性実験室          | 40 学生支援センター        |
| 9 総合理工学部1号館       | 41 キャリアセンター        |
| 10 総合理工学部2号館      | 42 外国語教育センター       |
| 11 総合理工学部3号館      | 43 国際交流センター        |
| 12 動物飼育室          | 44 工作センター          |
| 13 生物資源科学部1号館     | 45 大学会館(松江)        |
| 14 生物資源科学部2号館     | 46 第1食堂            |
| 15 生物資源科学部3号館     | 47 第2食堂            |
| 16 水利実験室          | 48 第1体育館           |
| 17 農業機械実験室        | 49 第2体育館           |
| 18 林産加工場・実験動物飼育施設 | 50 トレーニングセンター      |
| 19 製材加工室          | 51 武道館             |
| 20 器具庫            | 52 体育器具庫           |
| 21 温室             | 53 課外活動共用施設        |
| 22 動物実験飼育室        | 54 プール棟            |
| 23 ガラス室           | 55 弓道場             |
| 24 園場             | 56 アーチェリー場         |
| 25 教養講義室棟1号館      | 57 車庫              |
| 26 教養講義室棟2号館      | 58 環境安全施設          |
| 27 附属図書館          | 59 焼却処理施設          |
| 28 保健管理センター       | 60 特高受変電棟          |
| 29 生涯学習教育研究センター   | 61 ボイラー室           |
| 30 総合情報処理センター     | 62 守衛室             |
| 31 汽水域研究センター      | 63 中央監視室           |
| 32 ミュージアム         | 64 薬品庫             |
|                   | 65 大学ホール           |



島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)は、地域社会の法化の進展に寄与すると共に、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹の養成を基本理念にしています。

そのために教育面では、高度で多様な専門知識の修得のみならず、法曹として生涯役立つ法的知性の基礎作り、地域社会の紛争に敢然と立ち向かい解決への道筋を立てる意欲と熱意を育む教育を重視しています。

新司法試験に合格した本学修了生の多くは社会人と純粋未修者で、社会人と法学未修者向け教育に関して成果を上げており、本学の教育実践は2008年度の認証評価で高い評価を受けています。



#### 養成すべき法曹像(法科大学院の基本理念と教育目的)

- ①「国民の社会生活上の医師」として地域課題を熟知し、地域社会に深く根ざした法曹
- ②東アジアを中心とした各国法事情・国際取引等に精通し、国際社会の発展に貢献できる法曹

#### カリキュラムの基本的考え方

- ①基本的法律知識の体系的・理論的理解とともに、職業法曹としての倫理観を醸成する
- ②実務的課題への実践的取り組み方法を修得させるため、理論を踏まえつつ、実務への架橋を意識した教育
- ③先端応用領域における法的問題解決能力を身に付け、多様かつ地域独自の現代的課題に対応できる能力を磨く



#### 充実した学習環境と経済的支援

学生全員にチャレが付与され、また、24時間使用できる学生研究室、図書、コピー機、法廷教室などが備わっており、充実した学習環境で法曹を目指し、学習に集中することができます。また、入学科・授業料免除制度である本研究科独自の「成績優秀者の入学科及び授業料の特別免除制度」(各学年5名を対象とする)等、経済的支援も充実しています。



## 附属図書館

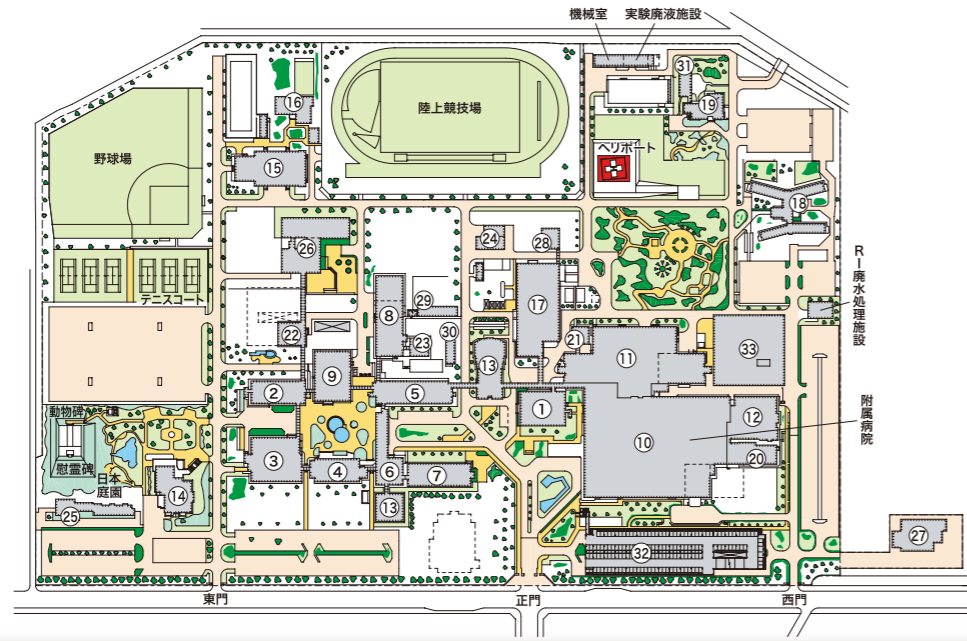
学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。



#### ■本館(松江キャンパス)

本館は、学生用図書の整備に力を注ぐ一方、各種データベースやwebコンテンツ等の電子媒体の学術情報も提供しています。閲覧室のほか、パソコンルーム、無線LAN等を備え、様々な利用形態に応じた資料や環境を提供すると同時に、これら情報資源を使いこなすための支援をしています。学生による学習サポートも始まり、より良い学びの場を目指し、学生が活発に活動しています。県内の公共図書館、大学・高専図書館等と連携し、資料の相互利用も可能です。

# キャンパスマップ



## 出雲キャンパス

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1  
TEL.0853-23-2111

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 本部棟(医学部)            | 17 中央機械室        |
| 2 講義棟                 | 18 看護師宿舎        |
| 3 実習棟                 | 19 医学部会館        |
| 4 基礎研究棟               | 20 MRI-CT装置棟    |
| 5 臨床研究棟               | 21 病産室          |
| 6 共同研究棟               | 22 第三研究棟        |
| 7 第二研究棟               | 23 RI研究棟        |
| 8 総合科学研究支援センター(出雲地区)  | 24 塵芥焼却炉室       |
| 9 RI・動物実験施設           | 25 国際交流センター(出雲) |
| 10 医学図書館              | 26 看護学科棟        |
| 11 外来・中央診療棟           | 27 産学連携センター(出雲) |
| 12 病棟                 | (地域医学共同研究部門)    |
| 13 高エネルギー診療棟          | 28 特高受変電棟       |
| 14 臨床講義棟              | 29 第三共同研究棟      |
| 14 大学会館(出雲)           | 30 第四共同研究棟      |
| 14 保健管理センター(出雲保健センター) | 31 うさぎ保育所       |
| 15 体育館                | 32 立体駐車場        |
| 16 武道館                | 33 新病棟          |



## 附属図書館

学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。

### ■医学図書館(出雲キャンパス)

医学図書館は医学系専門図書館として、学習・教育・研究支援のサービスを展開しています。開館時間外入館システムで、医学部は24時間利用が可能です。図書・雑誌・ビデオ・DVDのほか、電子ジャーナルや各種文献データベースを提供し、授業への参加や文献検索講習会開催で情報収集のスキル向上を支援しています。また、医学図書館の市民の方への公開、県内医療関係機関図書室等との連携・協力等地域への貢献も進めています。



# 学内共同教育研究施設等

学内には、各学部や研究科等に所属する研究者が共同して教育・研究にあたる施設として、一連の教育研究施設を設置しています。

## ■生涯学習教育研究センター

<http://www.ercll.shimane-u.ac.jp/>



地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

## ■総合情報処理センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/>



学内のみならず、地域社会のネットワークの中核としての将来計画を志向しながら情報発信機能を強化することを目指しています。

## ■汽水域研究センター

<http://www.kisuiiki.shimane-u.ac.jp/>



「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念として、環境変動や生物多様性のメカニズムの解明、資源解析や保全再生に取り組んでいます。

## ■外国語教育センター

<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>



外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。

## ■ミュージアム(本館など)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/>



永年の教育・研究によって収集・蓄積されてきた標本・資料類等を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。なお、松江キャンパス内には、このほか山陰地域資料展示室、古代出雲文化資料調査室等の展示スペースもあります。

## ■サテライト(島根大学旧奥谷宿舎)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html>



1924(大正13)年、島根大学の前身・旧制松江高等学校外国人教師のために建てられた洋館で、国登録有形文化財にも登録されています。様々な展示活動やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

## ■国際交流センター

<http://kokusai.shimane-u.ac.jp/>



多様な国際交流活動の拠点となり、市民、行政、産業界等の地域社会と協力し、海外の大学等関係機関と学生・教職員交流や教育研究の連携を戦略的に推進します。

## ■島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【寧夏大学構内(中国寧夏回族自治区銀川市)】



研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差問題等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

## ■産学連携センター

<http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>



松江地区

出雲地区

産学官連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。

- 地域産業共同研究部門
- 地域医学共同研究部門
- 連携企画推進部門
- 知的財産創活部門

## ■総合科学研究支援センター

<http://www.shimane-u.ac.jp/>から「病院・図書館・附属施設」をクリック

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

- 遺伝子機能解析分野(RI実験施設)(松江)
- 物質機能分析分野(松江)
- 実験動物分野(出雲)
- 生体情報・RI実験分野(出雲)

## ■学内共同施設 工作センター

工作機械を効果的に管理し、教育・研究に必要な機器装置等の製作、修理を行っています。学生も実習等で利用できます。

# 学生生活関係施設

## ■ 学生会館・食堂



学生会館



食堂

学生・教職員が相互交流できる場として、また、書籍・文具及び日用品の販売、食堂等、学業を継続する上で必要なサービスを提供している施設です。

## ■ 学生センター(松江キャンパス)

<http://nyucen.shimane-u.ac.jp/>(入試センター)



学内中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、入試センターも設置されています。

### ■ 入試センター

島根大学における入学者選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

## ■ キャリアセンター(学生支援センター内)

<http://career.shimane-u.ac.jp/>



学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、全学的立場から支援する組織として就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施、就職情報の整理・活用を担っています。

## ■ 保健管理センター

学生・教職員が心身ともに健康な生活が送れるよう、また、より健康が増進されるよう専門的立場から支援するサービス部門です。(松江・出雲両キャンパスに設置)

## ■ 教育開発センター

<http://cerd.shimane-u.ac.jp/>

島根大学における学生の学びの質を保証・向上するために、教育システムの構築やFD、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学習環境改善活動に携わっています。

## ■ 男女共同参画推進室

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/>

誰もが学びやすく・働きやすい学内環境を作ることを目指して、男女共同参画や研究者支援にかかる様々な事業を行っています。

## ■ 学生寮

男女それぞれ学寮が設置されていますが、現在建て替え中です。  
男子寮(雄翔寮) TEL.0852-25-0438 女子寮(紫雲寮) TEL.0852-25-0437  
住所/松江市西川津町字深町3371の1

# その他の地区

### 深町地区(学寮)

〒690-0823 松江市西川津町字深町3371-1  
TEL.0852-21-3118

### 大輪地区(附属学校)

教育学部附属小学校/〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1200  
教育学部附属中学校/〒690-0824 松江市菅田町167-1 TEL.0852-29-1300  
教育学部附属幼稚園/〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1120

### 北陵地区(産学連携センター・松江キャンパス)

●**地域産業共同研究部門・知的財産創活部門・連携企画推進部門**  
〒690-0816 松江市北陵町2 TEL.0852-60-2290

部局名	所在地	電話番号	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター			
本部	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311	
森林科学部門	三瓶演習林	〒694-0003 大田市三瓶町多根941-1	0854-86-0011
農業生産科学部門	本庄総合農場	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311
//	神西砂丘農場	〒699-0822 出雲市神西沖町字蛇島2473-1	0853-43-2081
海洋生物科学部門	隠岐臨海実験所	〒685-0024 隠岐郡隠岐の島町加茂194	08512-2-1814
汽水域研究センター	中海分室	〒690-1401 松江市八束町江島南土手附694	0852-76-9007
国際交流会館	〒690-0824 松江市菅田町字ドンド320	0852-25-9530	

# 沿革

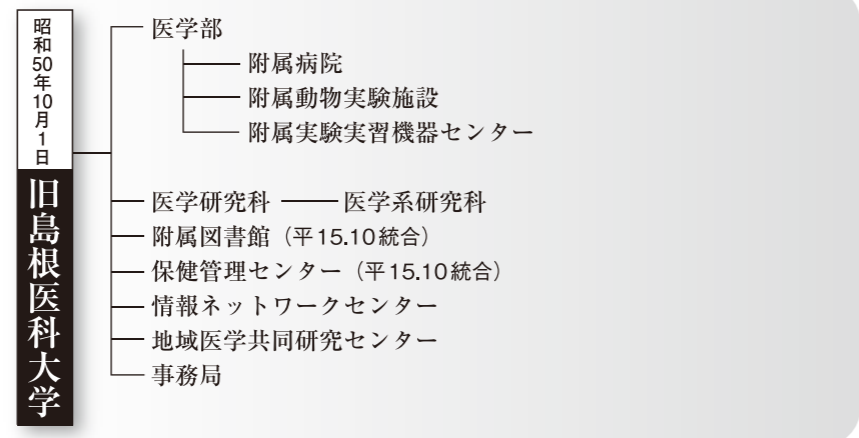
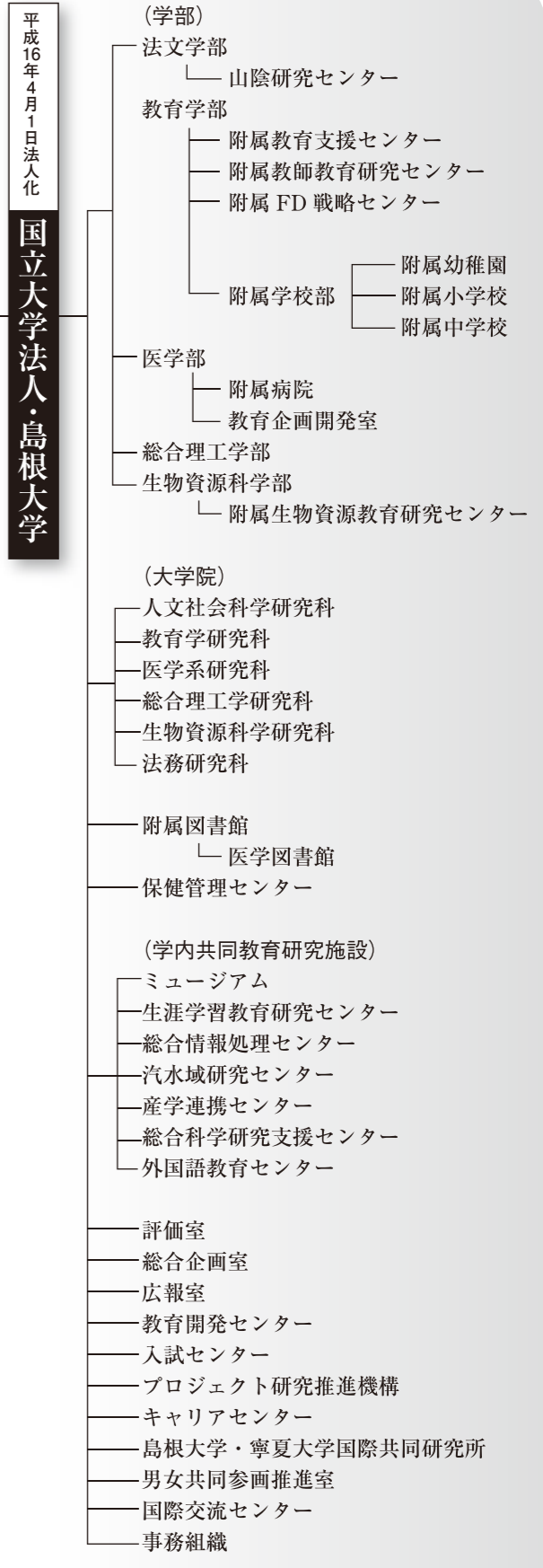
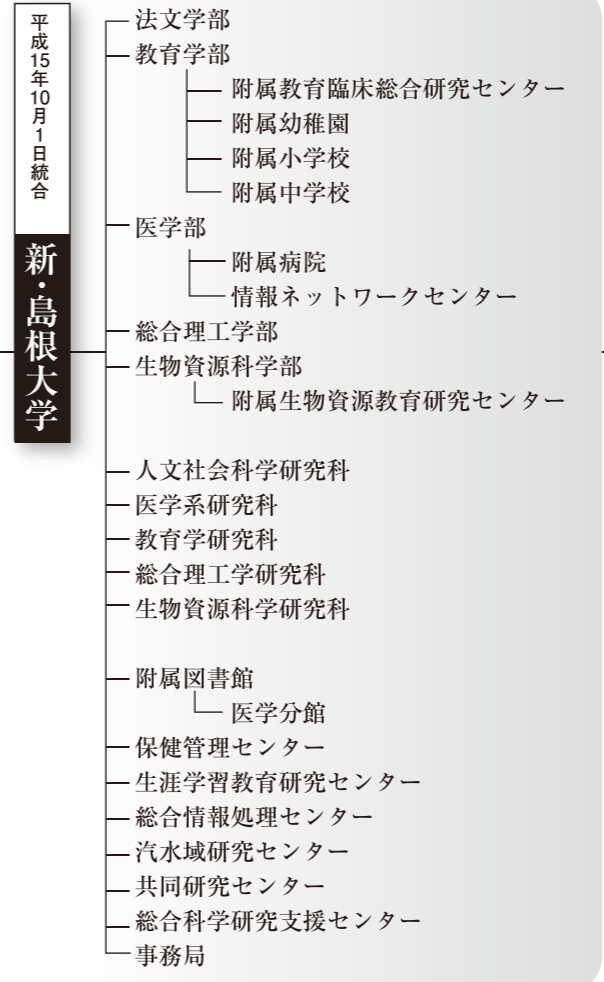
年 月	旧島根大学	旧島根医科大学
昭和24年 5月	旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、文理学部、教育学部からなる新制大学として発足	
昭和40年 4月	島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置	
昭和41年 4月	保健管理センター設置	
昭和42年 6月	農学部附属農場・農学部附属演習林設置	
昭和46年 4月	大学院農学研究科設置(平成12年生物資源科学研究科に拡充改組)	
昭和50年 10月		島根医科大学設置
昭和53年 4月		RI 実験施設設置
昭和53年 6月	文理学部を改組し、法文学部と理学部設置	
昭和54年 4月	教育学部附属複式教育研究センター設置	医学部附属病院設置
昭和56年 4月		医学部附属動物実験施設設置
昭和57年 4月		大学院医学研究科博士課程設置
昭和58年 4月		医学部附属実験実習機器センター設置
昭和60年 4月	大学院理学研究科設置(平成12年総合理工学研究科に拡充改組)	
昭和63年 4月	大学院法学研究科設置(平成9年人文社会科学研究科に拡充改組)	
平成元年 4月	島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置	
平成2年 6月	遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置	
平成3年 4月	大学院教育学研究科設置	保健管理センター設置
平成4年 4月	汽水域研究センター設置	
平成5年 4月	生涯学習教育研究センター設置	
平成6年 12月		情報ネットワークセンター設置
平成7年 2月		特定機能病院として承認
平成7年 10月	理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置	
平成8年 5月	地域共同研究センター設置	
平成9年 4月	大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置	
平成11年 4月		医学部看護学科設置
平成12年 4月	大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置	
平成13年 4月	教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置	地域医学共同研究センター設置
平成14年 4月	大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置	
平成15年 4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、看護学専攻(修士課程)設置

年 月	島根大学
平成15年 10月	旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置
平成16年 3月	島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置
平成16年 4月	国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置
平成16年 10月	共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置
平成16年 12月	教育開発センター設置、入試センター設置
平成17年 3月	プロジェクト研究推進機構設置
平成17年 10月	キャリアセンター設置
平成18年 4月	ミュージアム設置、国際交流センター設置
平成19年 4月	教育学部附属教師教育研究センター設置
平成19年 6月	教育学部附属FD戦略センター設置
平成20年 7月	男女共同参画推進室設置
平成23年 4月	広報室設置

# 学年暦

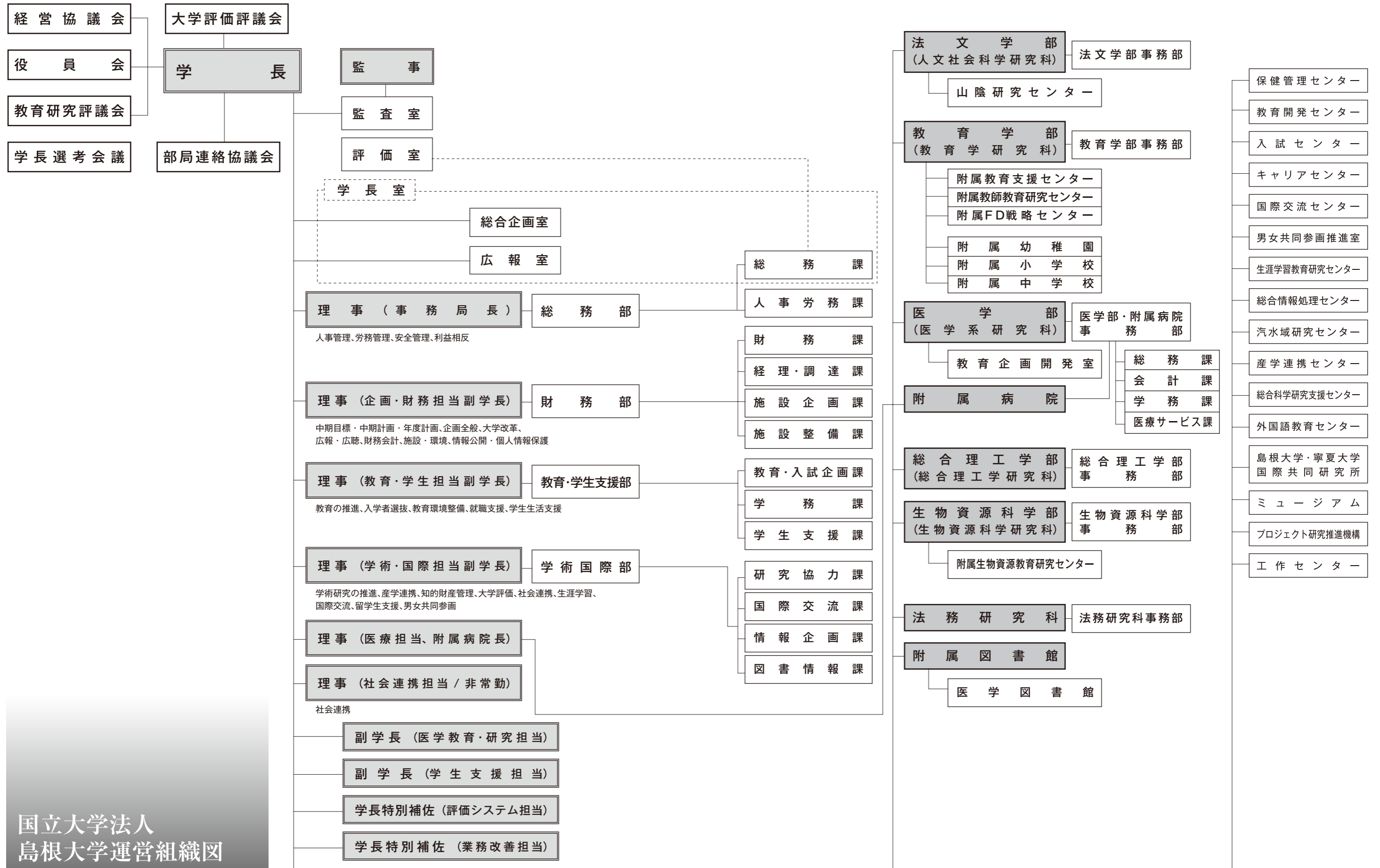
4月1日	学年始	9月30日	前期終	10月15日~16日	大学祭(出雲)
	前期始	10月1日	後期始	12月23日~1月5日	冬季休業
4月6日	入学式		開学記念日	3月21日	学位授与式(出雲)
8月9日~9月30日	夏季休業	10月7日~10日	大学祭(松江)	3月23日	学位授与式(松江)

# 沿革図



運営組織図

2011.4.1現在



国立大学法人  
島根大学運営組織図

役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

2011.5.1現在

学長

学長 山本 廣基

理事

理事(企画・財務担当副学長) 宅和 曉男  
 理事(教育・学生担当副学長) 三宅 孝之  
 理事(学術・国際担当副学長) 柴田 林祥  
 理事(医療担当) 小 林 祥泰  
 理事(総務担当) 両 角 晶仁  
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江 口 博晴

監事

監事 山崎 征爾  
 監事(非常勤) 宮 脇 和秀

副学長

副学長(学生支援担当) 足立 悦男  
 副学長(医学教育・研究担当) 大 谷 浩

学長特別補佐

学長特別補佐(評価システム担当) 野田 哲夫  
 学長特別補佐(業務改善担当) 細 木 勝美

事務局長

事務局長 両 角 晶仁

理事の下に置く部

**理事(総務担当)**  
 総務部  
 総務部長 宮 地 弘  
 総務課長 小 村 陽悦  
 人事労務課長 田 中 巖  
**理事(企画・財務担当)**  
 財務部  
 財務部長 宮 地 弘  
 財務課長 田井中 淳一  
 経理・調達課長 西 田 俊一  
 施設企画課長 安 田 毅  
 施設整備課長 本 池 俊明  
**理事(教育・学生担当)**  
 教育・学生支援部  
 教育・学生支援部次長 為 石 勝美  
 教育・入試企画課長 為 石 勝美  
 学務課長 門 城 祐司  
 学生支援課長 山 崎 幸司  
**理事(学術・国際担当)**  
 学術国際部  
 学術国際部長 村 上 賀章  
 研究協力課長 村 上 賀章  
 国際交流課長 野 津 和男  
 情報企画課長 早 竹 昭人  
 図書情報課長 板 谷 茂

監査室

室長 原 裕司

学部・大学院

**法文学部・人文社会科学研究科**  
 学部長・研究科長 武 田 信明  
 副学部長 村 瀬 俊樹  
 副学部長 居 石 正和  
 副学部長 倉 田 隆之  
 事務長 恒 松 久之  
**教育学部・教育学研究科**  
 学部長・研究科長 伊 藤 豊彦  
 副学部長 秋 重 幸邦  
 副学部長 加 藤 寿朗  
 副学部長 高 橋 哲也  
 副学部長 肥 功 一俊  
 附属教育支援センター長 境 英彦  
 附属教師教育研究センター長 伊 藤 豊彦  
 附属FD戦略センター長 肥 功 一俊  
 附属学校部長 小 川 巖生  
 附属幼稚園長 佐 々 有生  
 附属小学校長 佐 々 有生  
 附属中学校長 佐 々 有生  
 事務長 伊 藤 一良  
**医学部・医学系研究科**  
 学部長・研究科長 紫 藤 治憲  
 副学部長 塩 飽 邦憲  
 副学部長 内 尾 祐司  
 附属病院長 小 林 祥泰  
 副病院長 井 川 幹夫  
 副病院長 山 口 清次  
 副病院長 秦 美恵子  
 事務部長 安 藤 慎吾  
 総務課長 安 友 政男  
 会計課長 中 島 一浩  
 学務課長 菅 野 敬也  
 医療サービス課長 田 村 和彦  
**総合理工学部・総合理工学研究科**  
 学部長・研究科長 竹 内 潤  
 副学部長 吉 田 和信  
 副学部長 久 保 恭男  
 事務長 坂 本 節郎  
**生物資源科学部・生物資源科学研究科**  
 学部長・研究科長 谷 口 憲治  
 副学部長 澤 嘉 弘  
 副学部長 尾 崎 浩一  
 附属生物資源教育研究センター長 小 池 浩一郎  
 事務長 増 田 一雄  
**法務研究科**  
 研究科長 藤 田 達朗  
 事務長 恒 松 久之

附属施設・学内共同教育研究施設等

**附属図書館**  
 附属図書館長 田 籠 博明  
 医学図書館長 富 岡 治  
**保健管理センター**  
 所長 竹 永 三男子  
 副所長 江 副 智子  
**総合企画室**  
 室長 宅 和 曉男  
**評価室**  
 室長 柴 田 均  
**広報室**  
 室長 宅 和 曉男  
**教育開発センター**  
 センター長 三 宅 孝之  
 副センター長 森 朋 子  
**入試センター**  
 センター長 三 宅 孝之  
 副センター長 田 中 均  
**キャリアセンター**  
 センター長 足 立 悦男  
**国際交流センター**  
 センター長 柴 田 均則  
 副センター長 安 藤 安  
**生涯学習教育研究センター**  
 センター長 田 坂 郁夫  
**総合情報処理センター**  
 センター長 野 田 哲夫  
 副センター長 鈴 木 貢  
**汽水域研究センター**  
 センター長 野 村 律夫  
 副センター長 國 井 秀伸  
**産学連携センター**  
 センター長 大 庭 卓也  
 副センター長 並 河 徹  
**総合科学研究支援センター**  
 センター長 富 岡 治明  
 副センター長 廣 光 一郎  
**外国語教育センター**  
 センター長 西 脇 宏三  
 副センター長 廣 瀬 浩  
**島根大学・寧夏大学国際共同研究所**  
 所長 伊 藤 勝久  
 副所長 関 戸 俊平  
 副所長 一 戸 義義  
**ミュージアム**  
 館長 林 會 正久  
 副館長 下 和 宏  
**工作センター**  
 センター長 廣 光 一郎  
**プロジェクト研究推進機構**  
 機構長 柴 田 均  
**男女共同参画推進室**  
 室長 澤 アツ子

経営協議会委員

学長 山本 廣基  
 理事(企画・財務担当副学長) 山宅 三宅 廣基  
 理事(教育・学生担当副学長) 三宅 孝之  
 理事(学術・国際担当副学長) 柴田 林祥  
 理事(医療担当) 小 林 祥泰  
 理事(総務担当) 両 角 晶仁  
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江 口 博晴  
 山陰中央テレビジョン放送(株)代表取締役  
 一畑電気鉄道(株)代表取締役  
 環太平洋大学長 大 槻 厚  
 島根県病院事業管理者 中 川 正久  
 島根県弁護士会 弁護士 村 島 敦正  
 キャスター・エッセイスト 福 松 正  
 松江市長 宮 浦 正  
 (財)日本宇宙フォーラム 理事長 間 宮 敬馨

教育研究評議会評議員

学長 山本 廣基  
 理事(企画・財務担当副学長) 山宅 三宅 廣基  
 理事(教育・学生担当副学長) 三宅 孝之  
 理事(学術・国際担当副学長) 柴田 林祥  
 理事(医療担当) 小 林 祥泰  
 理事(総務担当) 両 角 晶仁  
 副学長(医学教育・研究担当) 大 谷 浩  
 副学長(学生支援担当) 足 立 悦男  
 法文学部長 武 田 信明  
 教育学部長 伊 藤 豊彦  
 医学部長 紫 藤 治憲  
 総合理工学部長 竹 内 潤  
 生物資源科学部長 谷 口 憲治  
 法務研究科長 藤 田 達朗  
 附属図書館長 田 籠 博明  
 汽水域研究センター長 野 村 律夫  
 教授 法文学部 居 石 正和  
 教授 法文学部 村 瀬 俊樹  
 教授 教育学部 秋 重 幸邦  
 教授 教育学部 肥 功 一平  
 教授 医学部 高 橋 哲也  
 教授 医学部 高 橋 哲也  
 教授 総合理工学部 藤 田 達朗  
 教授 総合理工学部 藤 田 達朗  
 教授 生物資源科学部 横 田 修一  
 教授 生物資源科学部 荒 瀬 泰直  
 教授 生物資源科学部 野 中 資博

沿革・組織

学部等

学生数、入試・就職・進学状況

公開講座・公開授業

外部資金、収入・支出決算額

国際交流・その他



教職員数

2011.5.1現在

区分	役員				教育職員										一般職員							医療職員			合計		
	学長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	校長	副校長・副園長	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計	事務職員	技術職員	図書職員	技能職員	労務職員	教務職員	小計	医療技術職員	看護職員		小計	
学長	1			1											0							0			0	1	
理事		6		6											0							0			0	6	
監事			2	2											0							0			0	2	
事務局長				0											0							0			0	(1)	
監査室				0											0	2						2			2	2	
理事の下に置く部	総務部	総務部長			0										0	1						1			0	1	
		総務課			0											0	18		2			20			0	20	
		人事労務課			0											0	25					25			0	25	
	財務部	財務部長			0											0							0			0	(1)
		財務課			0											0	9						9			0	9
		経理・調達課			0											0	18						18			0	18
		施設企画課			0											0	9	7			2		18			0	18
	教育・学生支援部	施設整備課			0											0	1	15					16			0	16
		教育・学生支援部次長			0											0	1						1			0	1
		教育・入試企画課			0											0	13						13			0	13
		学務課			0											0	20						20			0	20
	学術国際部	学生支援課			0											0	14						14			0	14
		学術国際部長			0											0	1						1			0	1
		研究協力課			0											0	9	2				1	12			0	12
		国際交流課			0											0	4		1				5			0	5
	情報企画課			0											0	6	2				1	9			0	9	
	図書情報課			0											0	4		14				18			0	18	
法文学部			0	33	28	2								63	6						6			0	69		
教育学部			0	45	27	9	2							83	9	1					10			0	93		
附属中学校			0						1	2	1	22	2	28	1						1			0	29		
附属小学校			0						1	2	2	21	1	27	1						1			0	28		
附属幼稚園			0						1		1	4	1	7							0			0	7		
医学部			0	51	29	10	84							174	106	41		5		7	159			0	333		
附属病院			0	2	11	30	67							110	1	3		14			18	107	483	590	718		
総合理工学部			0	57	39	9	13							118	9	3					3	15			0	133	
生物資源科学部			0	35	40	2	13							90	11	13					24			0	114		
法務研究科			0	13	1	1								15	2						2			0	17		
保健管理センター			0	2	1									3							0	1	2	3	6		
総合企画室			0	1										1							0			0	1		
評価室			0			1								1							0			0	1		
教育開発センター			0		1	1								2							0			0	2		
入試センター			0	1		1								2							0			0	2		
キャリアセンター			0	2		1	1							4							0			0	4		
国際交流センター			0	1										1							0			0	1		
男女共同参画推進室			0	1		1								2							0			0	2		
生涯学習教育研究センター			0	1	1									2							0			0	2		
総合情報処理センター			0		1									1							0			0	1		
汽水域研究センター			0	2	3									5							0			0	5		
産学連携センター			0	3		1								4							0			0	4		
総合科学研究支援センター			0	2	2		4							8							0			0	8		
外国語教育センター			0	3	7	1								11							0			0	11		
ミュージアム			0		1									1							0			0	1		
プロジェクト研究推進機構			0			1								1							0			0	1		
合計	1	6	2	9	255	192	71	184	0	3	4	4	47	4	764	301	87	15	21	2	12	438	108	485	593	1,804	

(注)1. 理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2. 病院診療職員は含まない。3. 外国人研究員は含まない。4. 事務局長は理事(総務担当)が兼務。財務部長は総務部長が兼務。

学部・大学院

■学部

学部	学科・課程	講座
法文学部	法経学科	法経
	社会文化学科	社会文化
	言語文化学科	言語文化
教育学部	学校教育課程	初等教育開発、心理・発達臨床、言語文化教育、共生社会教育、数理基礎教育、自然環境教育、人間生活環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育
医学部	医学科	基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物・免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医療社会文化学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科学、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、地域医療教育、地域医療支援学
		看護学科
総合理工学部	物質科学科	物質構造、物質設計、物質機能、量子物理、物質化学
	地球資源環境学科	地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学
	数理・情報システム学科	数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学
	電子制御システム工学科	制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
生物資源科学部	材料プロセス工学科	材料工学、機械加工システム学
	生物科学科	細胞生物学、生物機能学
	生態環境科学科	環境生物学、生態環境工学、森林環境学
	生命工学科	応用生命工学、生命情報工学
	農業生産学科	食糧生産学、植物資源開発学、生産技術管理学
地域開発科学科	農林・資源経済学、生物環境情報工学、地域環境工学	

■大学院

研究科	専攻	講座
人文社会科学研究科 修士課程	法経専攻	法政コース、地域経済コース
	言語・社会文化専攻	言語文化コース、社会文化コース
教育学研究科 修士課程	教育実践開発専攻	学習開発、臨床心理、発達臨床
	教育内容開発専攻	言語系教育、社会系教育、数理系教育、自然系教育、生活系教育、健康系教育、芸術系教育
医学系研究科 博士課程	医科学専攻	研究者育成コース、高度臨床医育成コース、腫瘍専門医育成コース
医学系研究科 修士課程	医科学専攻	総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース
	看護学専攻	看護援助学コース、看護管理学コース、母子看護学コース、成人看護学コース、地域在宅看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護 CNSコース
総合理工学研究科 博士後期課程	マテリアル創成工学専攻	マテリアル開発工学、マテリアル循環プロセス学
	電子機能システム工学専攻	電子情報システム工学、電子機能集積工学
総合理工学研究科 博士前期課程	物質科学専攻	物質構造、物質設計、物質機能、量子物理、物質化学
	地球資源環境学専攻	地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学
	数理・情報システム学専攻	数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学
	電子制御システム工学専攻	制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
生物資源科学研究科 修士課程	材料プロセス工学専攻	材料工学、機械加工システム学
	生物生命科学専攻	
	農林生産科学専攻	
法務研究科 専門職学位課程	環境資源科学専攻	
	法曹養成専攻	

## 附属図書館

■蔵書数 2011.5.1現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
本館	607,741	152,090	759,831	8,526	3,119	11,645
医学図書館	66,163	55,660	121,823	2,228	1,711	3,939

■利用状況

区分	入館者数	貸出冊数	図書の貸借		文献複写	
			貸出	借受	受付	依頼
本館	320,182	50,311	250	600	1,243	3,966
医学図書館	202,112	14,132	9	21	1,994	1,952

■閲覧座席

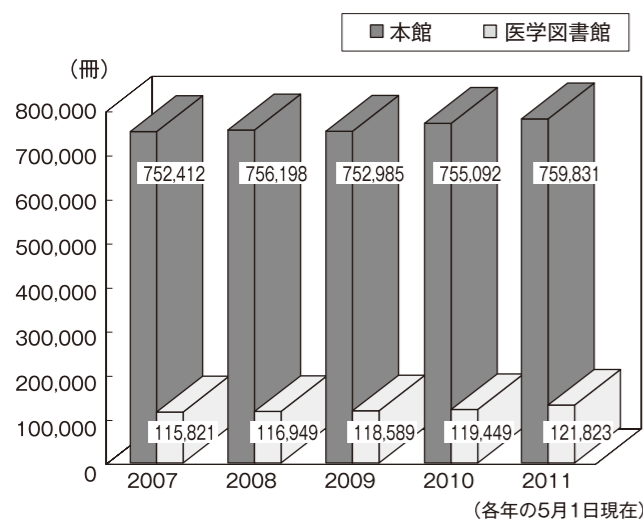
区分	座席数	備考
本館	620	開架閲覧室398席、学習室16席、グループ閲覧室16席、新聞閲覧コーナー10席、ブラウジングコーナー27席、職員閲覧室4席、郷土資料室6席、遺跡資料室4席、八雲文庫室10席、AVルーム14席、情報メディアルーム41席、パソコンコーナー27席、第2貴重資料室2席、書庫内14席、ラウンジ31席
医学図書館	291	開架閲覧室192席、ビデオ室8席、自由閲覧室22席、ブラウジングコーナー5席、視聴覚室42席、セミナー室22席

■開館時間等

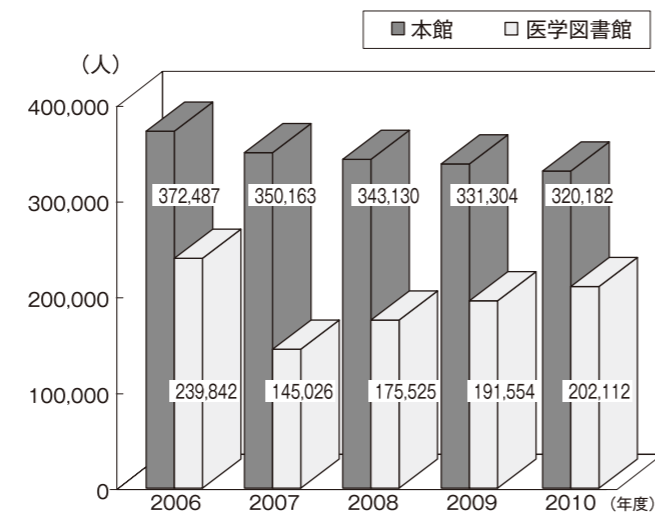
区分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・定期試験期間中の休日	
本館	8:30～21:30 (休業期は9:00～19:00 または9:00～17:00)	10:00～17:30 (休業期は休館)	休業期の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月29日～1月4日) 夏季一斉休業(8月13日～15日) 定例図書整理日(4月を除く偶数月の第4水曜日) 特別整理期間(3月下旬)
区分	開館時間		休館日
医学図書館	月曜～金曜	土曜・日曜・休日	

■蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数(図書)



●利用状況(入館者数)



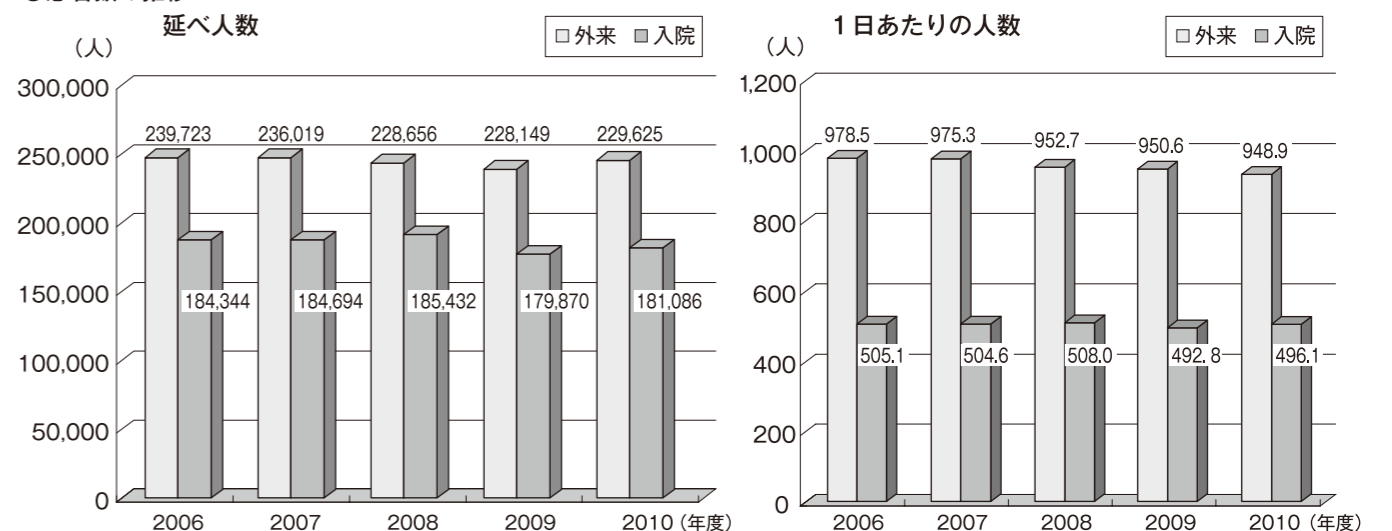
## 附属病院

■附属病院患者数 (2010.4.1～2011.3.31)

診療科名等	病床数	外来患者数		入院患者数	
		延数	1日平均数	延数	1日平均数
内分泌代謝内科	20	11,152	46.1	4,726	12.9
血液内科	24	4,167	17.2	9,085	24.9
消化器内科	44	10,631	43.9	11,103	30.4
肝臓内科		7,332	30.3	4,381	12.0
神経内科	33	8,407	34.7	8,983	24.6
膠原病内科		7,018	29.0	2,706	7.4
呼吸器・化学療法内科	13	8,186	33.8	7,362	20.2
腎臓内科	4	3,181	13.1	1,855	5.1
循環器内科	34	8,648	35.7	9,790	26.8
皮膚科	16	14,807	61.2	3,875	10.6
小児科	31	10,760	44.5	9,659	26.5
消化器外科	70	9,815	40.6	18,552	50.8
肝・胆・膵外科		713	2.9	452	1.2
小児外科		928	3.8	1,058	2.9
乳腺・内分泌外科		3,396	14.0	1,558	4.3
心臓血管外科	15	1,712	7.1	5,206	14.3
呼吸器外科	15	1,360	5.6	4,559	12.5
整形外科	46	15,798	65.3	15,157	41.5
脳神経外科	22	4,666	19.3	6,804	18.6
泌尿器科	22	14,212	58.7	8,495	23.3
精神科神経科	40	15,517	64.1	9,856	27.0
産科	42	5,238	21.6	4,262	11.7
婦人科		8,611	35.6	10,731	29.4
耳鼻咽喉科	30	7,322	30.3	7,664	21.0
眼科	22	16,816	69.5	6,648	18.2
放射線科	2	1,165	4.8	68	0.2
放射線治療科		5,904	24.4	344	0.9
麻酔科	4	6,197	25.6	1,160	3.2
救急部	4	7,497	31.0	532	1.5
腫瘍センター	4	536	2.2	1,382	3.8
歯科口腔外科	11	6,929	28.6	3,035	8.3
インプラントセンター		979	4.0	38	0.1
臨床検査科	0	25	0.1		
共通	31				
RI・Ra	3			(107)	(0.3)
インキュベーター	5				
ICU	6			(1613)	(4.4)
NICU	3			(931)	(2.6)
合計	616	229,625	948.9	181,086	496.1

※ ICU、NICU、RI・Raの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移



# 学生数

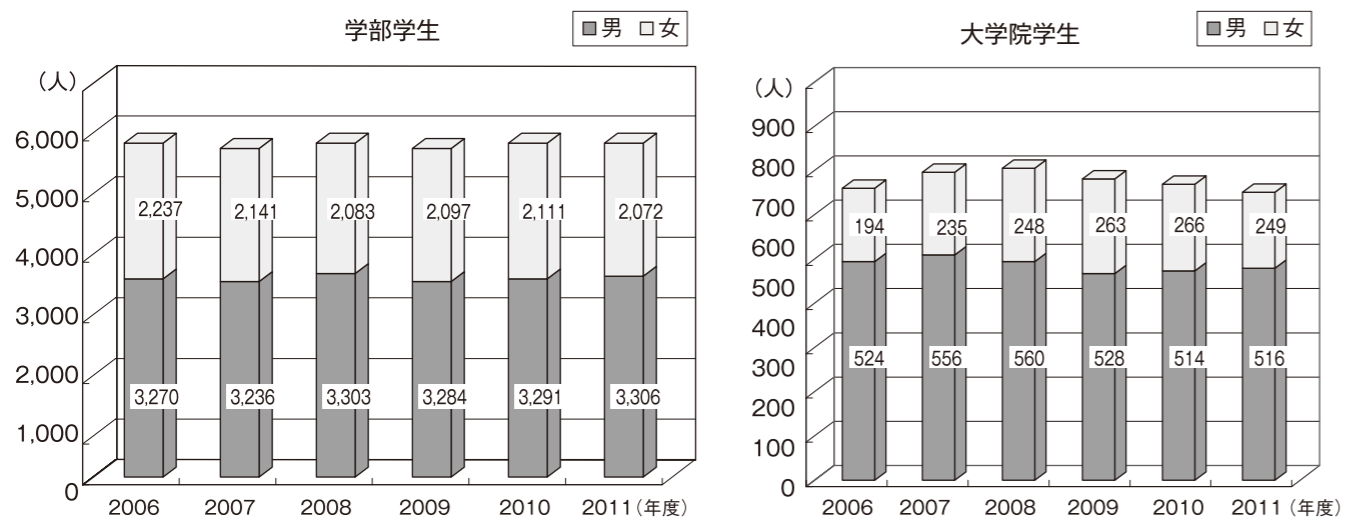
## 学部

2011.5.1現在

区分	入学定員	収容定員	現員			
			男	女	計	
法文学部	法経学科	90	360	255 (2)	144	399 (2)
	社会文化学科	70	280	146	170 (2)	316 (2)
	言語文化学科	65	260	61 (6)	233 (6)	294 (12)
	法学科	-	-	1		1
	計	225 [10]	920	463 (8)	547 (8)	1,010 (16)
教育学部	学校教育課程	170	680	281	426	707
	生活環境福祉課程	-	-	1		1
	計	170	680	282	426	708
医学部	医学科	102 [10]	552	361	250	611
	看護学科	60 [10]	240	29	230	259
	計	162 [20]	852	390	480	870
総合理工学部	物質科学科	130	520	514 (3)	76 (2)	590 (5)
	地球資源環境学科	50	200	155	49	204
	数理・情報システム学科	100	400	354 (3)	89 (1)	443 (4)
	電子制御システム工学科	80	320	375 (9)	9 (1)	384 (10)
	材料プロセス工学科	40	160	156 (6)	34 (3)	190 (9)
	計	400 [20]	1,640	1,554 (21)	257 (7)	1,811 (28)
生物資源科学部	生物科学科	30	120	81	53 (3)	134 (3)
	生態環境科学科	45	180	124 (3)	83 (3)	207 (6)
	生命工学科	40	160	99	85	184
	農業生産学科	30	120	78	62	140
	地域開発科学科	55	220	198 (5)	57 (1)	255 (6)
	計	200 [20]	840	580 (8)	340 (7)	920 (15)
合計	1,157 [70]	4,932	3,269 (37)	2,050 (22)	5,319 (59)	

注) 1. 入学定員欄の【 】は、第3年次編入学定員で外数 2. 現員欄の( )は外国人留学生で外数

## 学部学生・大学院学生数の推移



## 大学院

2011.5.1現在

区分	入学定員	収容定員	現員										
			修士課程、博士前期課程			医学博士課程、博士後期課程			専門職学位課程				
			男	女	計	男	女	計	男	女	計		
人文社会科学部	法経専攻	6	12	7 (2)	1 (3)	8 (5)							
	言語・社会文化専攻	6	12	6	8 (1)	14 (1)							
	計	12	24	13 (2)	9 (4)	22 (6)							
法務研究科	法書養成専攻	20	70								34	16	50
	計	20	70								34	16	50
教育学研究科	教育実践開発専攻	20	40	6	16 (1)	22 (1)							
	教育内容開発専攻	20	40	12	16 (3)	28 (3)							
	計	40	80	18	32 (4)	50 (4)							
医学系研究科	医科学専攻	30	120				78 (16)	28 (9)	106 (25)				
	医科学専攻	15	30	19 (1)	13	32 (1)							
	看護学専攻	12	24		31	31							
	形態系専攻	-	-				3 (1)	2	5 (1)				
	機能系専攻	-	-				7	3 (1)	10 (1)				
	生態系専攻	-	-				2	3	5				
計	57	174	19 (1)	44	63 (1)	90 (17)	36 (10)	126 (27)					
総合理工学研究科	物質科学専攻	36	72	67	11	78							
	地球資源環境学専攻	14	28	11 (4)	8 (3)	19 (7)							
	数理・情報システム学専攻	28	56	42 (3)	12 (1)	54 (4)							
	電子制御システム工学専攻	22	44	78 (2)		78 (2)							
	材料プロセス工学専攻	12	24	20	2	22							
	マテリアル創成工学専攻	6	18				10 (8)	3 (6)	13 (14)				
	電子機能システム工学専攻	6	18				7 (4)	1	8 (4)				
計	124	260	218 (9)	33 (4)	251 (13)	17 (12)	4 (6)	21 (18)					
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	20	40	23 (2)	19	42 (2)							
	農林生産科学専攻	22	44	15 (6)	11 (1)	26 (7)							
	環境資源科学専攻	18	36	17 (2)	12 (4)	29 (6)							
	地域開発科学専攻			1		1							
	計	60	120	56 (10)	42 (5)	98 (15)							
合計	313	728	324 (22)	160 (17)	484 (39)	107 (29)	40 (16)	147 (45)	34	16	50		

注) 現員欄の( )は外国人留学生で外数

## 附属学校児童・生徒・幼児数

2011.5.1現在

### 附属幼稚園

区分	男	女	計	
2年課程	4才児	16	18	34
	5才児	20	20	40
合計	36	38	74	

### 附属中学校

区分	男	女	計	
1学年	68	68	136	
2学年	69	70	139	
3学年	68	68	136	
特別支援学級	1学年	1	0	1
	2学年	0	0	0
	3学年	1	0	1
合計	207	206	413	

### 附属小学校

区分	男	女	計	
1学年	29	31	60	
2学年	30	30	60	
3学年	34	29	63	
4学年	31	29	60	
5学年	36	45	81	
6学年	40	37	77	
特別支援学級	5年	0	0	0
	6年	1	0	1
合計	201	201	402	

# 入試実施状況(2011年度入学)

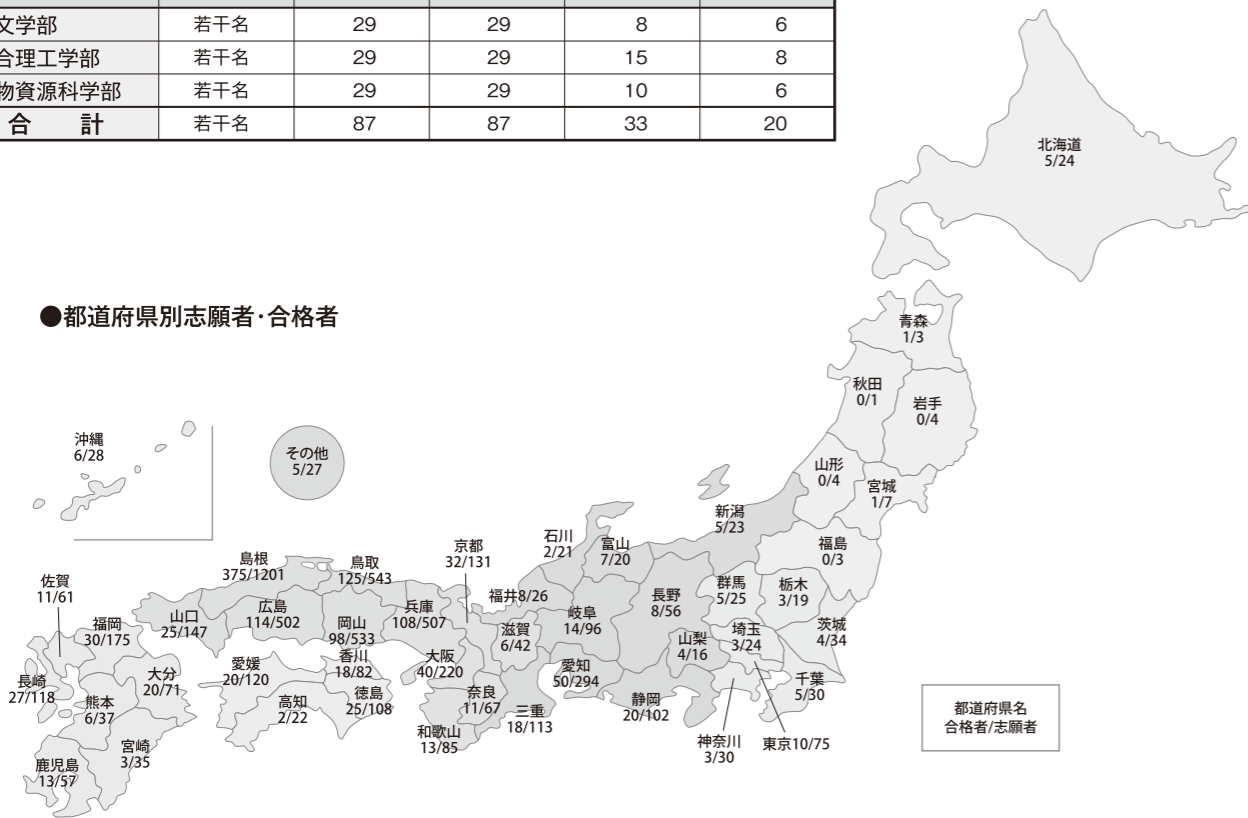
## ■学部

学部・学科・課程・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学者出身別 (%)		
						県内	県外	
法文学部	法経学科	90	390	246	114	90	28.2	71.8
	社会文化学科	70	551	360	78	71		
	言語文化学科	65	297	183	79	66		
	計	225	1,238	789	271	227		
教育学部	学校教育課程I類	170	478	330	138	133	48.9	51.1
	学校教育課程II類 健康・スポーツ教育専攻		89	57	16	16		
	学校教育課程II類 音楽教育専攻		47	46	18	18		
	学校教育課程II類 美術教育専攻		9	9	7	7		
	計	170	623	442	179	174		
医学部	医学科	102	696	587	102	102	38.8	61.2
	看護学科	60	368	247	66	63		
	計	162	1,064	834	168	165		
総合理工学部	物質科学科	130	532	375	151	136	26.0	74.0
	地球資源環境学科	50	366	266	56	50		
	数理・情報システム学科	100	411	317	108	100		
	電子制御システム工学科	80	288	202	87	85		
	材料プロセス工学科	40	249	226	52	40		
	計	400	1,846	1,386	454	411		
生物資源科学部	生物科学科	30	153	149	36	30	14.2	85.8
	生態環境科学科	45	275	212	53	51		
	生命工学科	40	190	185	51	44		
	農業生産学科	30	242	234	33	30		
	地域開発科学科	55	338	257	64	57		
	計	200	1,198	1,037	237	212		
合計	1,157	5,969	4,488	1,309	1,189	29.4	70.6	

## ■私費外国人留学生入試

学部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	若干名	29	29	8	6
総合理工学部	若干名	29	29	15	8
生物資源科学部	若干名	29	29	10	6
合計	若干名	87	87	33	20

## ●都道府県別志願者・合格者



## ■内訳

### (1) 一般入試

学部・学科・課程・専攻	試験日程	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
法文学部	法経学科	45	138	127	53	4	80
	社会文化学科	20	334	154	21	0	63
	言語文化学科	20	89	86	48	0	59
後期							
計	75	740	317	92	4	202	
教育学部	学校教育課程I類	70	176	162	75	0	87
	学校教育課程II類 健康・スポーツ教育専攻	8	29	28	8	0	12
	学校教育課程II類 音楽教育専攻	10	25	24	11	0	11
学校教育課程II類 美術教育専攻	4	4	4	3	0	3	
計	92	234	218	97	0	113	
医学部	医学科	62	557	449	62	0	62
	看護学科	32	152	132	38	0	45
	計	94	709	581	100	0	107
総合理工学部	物質科学科	80	258	237	96	0	110
	地球資源環境学科	28	172	162	30	3	39
	数理・情報システム学科	49	180	163	55	0	67
後期							
電子制御システム工学科	35	112	103	39	0	52	
材料プロセス工学科	15	125	48	15	0	25	
計	23	185	162	28	2	293	
生物資源科学部	生物科学科	17	57	54	20	1	21
	生態環境科学科	30	158	146	34	0	37
	生命工学科	29	132	127	38	0	37
後期							
農業生産学科	17	96	88	18	1	21	
地域開発科学科	5	124	124	5	0	37	
計	30	194	177	34	0	37	
合計	前期	27	637	592	144	2	153
	募集人員	857	5,157	3,681	977	11	868

### (2) 専門高校・総合学科卒業生入試

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部 看護学科	3以内	8	7	3	3
合計	3以内	8	7	3	3

### (3) 推薦入試 I

学部・学科・課程・専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	10	25	25	10	10
	社会文化学科	7	25	25	7	7
	言語文化学科	7	27	27	7	7
	計	24	77	77	24	24
教育学部	学校教育課程I類	12	43	43	13	13
	学校教育課程II類 健康・スポーツ教育専攻	4	13	13	4	4
	学校教育課程II類 音楽教育専攻	6	22	22	7	7
	学校教育課程II類 美術教育専攻	4	5	5	4	4
	計	26	83	83	28	28
総合理工学部	物質科学科	10	23	23	10	10
	地球資源環境学科	7	12	12	7	7
	数理・情報システム学科	21	59	58	21	21
	電子制御システム工学科	15	29	29	18	18
	材料プロセス工学科	12	26	26	15	15
計	65	149	148	71	71	
生物資源科学部	生物科学科	8	30	30	9	9
	生態環境科学科	10	38	37	14	14
	生命工学科	6	14	14	7	7
	農業生産学科	8	22	22	9	9
	地域開発科学科	18	31	31	20	20
	計	50	135	134	59	59
合計	165	444	442	182	182	

# 入試実施状況(2011年度入学)

## (4) 推薦入試Ⅱ

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
医学部	医学科	25	95	94	25	25
	看護学科	15	46	46	15	15
	計	40	141	140	40	40
総合理工学部	物質科学科	15	34	34	16	16
	数理・情報システム学科	10	44	44	12	12
	電子制御システム工学科	15	22	22	15	15
	計	40	100	100	43	43
合計	80	241	240	83	83	

## (5) 地域枠推薦入試

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部	10	27	27	10	10
合計	10	27	27	10	10

## (6) 緊急医師確保対策枠推薦入試

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部	5	17	17	5	5
合計	5	17	17	5	5

## (7) AO入試

学部・学科・課程	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
教育学部	32	65	65	33	33
総合理工学部	5	6	6	4	4
合計	37	71	71	37	37

## (8) 社会人入試

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	若干名	1	1	0	0
	社会文化学科	若干名	2	2	1	1
	言語文化学科	若干名	1	0	0	0
合計	若干名	4	3	1	1	

## (9) 帰国子女入試

学部・学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	若干名	0	0	0	0
合計	若干名	0	0	0	0

## 第3年次編入学

学部・学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	一般	11	10	2	1	
	社会文化学科	一般	7	5	2	2	
	言語文化学科	一般	10	10	6	6	
	計		10	28	25	10	
	計		28	33	18	9	
医学部	医学科	学士入学	10	244	203	17	10
	看護学科	一般	10	22	20	16	6
	計		20	266	223	33	16
総合理工学部	物質科学科	推薦	0	0	0	0	
		一般	4	4	2	2	
	地球資源環境学科	一般	0	0	0	0	
	数理・情報システム学科	推薦	0	0	0	0	
		一般	17	17	9	4	
	電子制御システム工学科	推薦	3	3	3	3	
		一般	10	10	8	7	
	材料プロセス工学科	推薦	1	1	1	1	
	一般	3	3	3	2		
計		20	38	38	26	19	
生物資源科学部	生物科学科	推薦	0	0	0	0	
		一般	2	1	1	1	
	生態環境科学科	推薦	8	8	5	5	
		一般	4	4	2	2	
	生命工学科	推薦	0	0	0	0	
		一般	4	3	1	0	
	農業生産学科	推薦	7	7	4	4	
		一般	7	7	4	4	
	地域開発科学科	推薦	1	1	1	1	
		一般	3	3	2	2	
計		20	36	34	20	19	
合計		70	368	320	89	63	

※合格者数には追加合格者を含む。

## 大学院

区 分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
人文社会科学 研究科	法経専攻	6	12	9	5	5
	言語・社会文化専攻	6	16	15	9	8
	計	12	28	24	14	13
教育学研究科	教育実践開発専攻	20	29	29	17	12
	教育内容開発専攻	20	15	15	14	13
	計	40	44	44	31	25
医学系研究科 (博士課程)	医科学専攻	30	28	28	27	27
	計	30	28	28	27	27
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	15	15	15	15	15
	看護学専攻	12	14	14	13	13
	計	27	29	29	28	28
総合理工学 研究科 (博士後期課程)	マテリアル創成工学専攻	6	6	6	6	6
	電子機能システム工学専攻	6	4	4	4	4
	計	12	10	10	10	10
総合理工学 研究科 (博士前期課程)	物質科学専攻	36	70	61	48	44
	地球資源環境学専攻	14	14	13	13	12
	数理・情報システム学専攻	28	31	31	31	28
	電子制御システム工学専攻	22	49	47	46	46
	材料プロセス工学専攻	12	15	15	15	13
計	112	179	167	153	143	
生物資源科学 研究科	生物生命科学専攻	20	24	23	21	16
	農林生産科学専攻	22	23	23	22	19
	環境資源科学専攻	18	21	20	20	19
	計	60	68	66	63	54
法務研究科	法書養成専攻	20	31	31	15	10
合計	313	417	399	341	310	

## 2012年度入試日程(予定)

区 分	募集要項発表	願書受付期間	試験実施日	合格発表				
特別入試	帰国生(2011秋季入学)(生物資源科学部)	4月12日	6月13日~6月17日	7月9日	7月15日			
特別入試	社会人入試(法文学部)	7月下旬	11月1日~11月7日	11月26日	12月5日			
	推薦入試Ⅰ(法文学部、教育学部)							
	推薦入試Ⅰ(総合理工学部、生物資源科学部)			11月24日~11月25日				
	推薦入試Ⅱ(医学部)		12月10日					
	推薦入試Ⅱ(総合理工学部)		1月19日~1月25日	2月3日	2月7日			
特別入試	地域枠推薦入試(医学部医学科)	3月22日	11月1日~11月7日	12月10日~12月11日				
	緊急医師確保対策枠推薦入試(医学部医学科)							
	私費外国人留学生 (法文学部、総合理工学部、生物資源科学部)					12月2日~12月8日	書類選考	1月18日
	帰国生(法文学部)					11月1日~11月7日	11月26日	12月5日
帰国生(生物資源科学部)	11月24日							
一般入試	前期日程(全学部)	10月中旬	1月23日~2月1日	2月25日~2月26日	3月7日			
	後期日程(全学部)			3月12日	3月22日			
特別入試	専門高校・総合学科卒業生入試(医学部看護学科)			2月25日~2月26日	3月7日			
特別入試	AO入試(教育学部)	7月下旬	10月3日~10月7日	11月26日	2月7日			
	AO入試(総合理工学部 理工特別コース)			11月24日~11月25日				
特別入試	AO入試(総合理工学部 地球資源環境学科)	6月下旬	8月1日~8月5日	9月26日	10月7日			

# 卒業生数・修了者数

## ■学部

2011.3.31現在

区	分	2010年度卒業生	累計
法文学部	法経学科	91	333
	社会文化学科	67	277
	言語文化学科	80	892
	法学科	2	3,987
	社会システム学科	-	762
	文学科	-	1586
	計	240	7,837
教育学部	学校教育課程	169	676
	学校教育教員養成課程	1	1,093
	生涯学習課程	-	527
	生活環境福祉課程	-	174
	小学校教員養成課程	-	4,790
	中学校教員養成課程	-	2,546
	養護学校教員養成課程	-	570
	幼稚園教員養成課程	-	574
	特別教科(音楽)校教員養成課程	-	1,152
	特別教科(保健体育)校教員養成課程	-	856
	社会教育文化課程	-	398
	計	170	13,356
	医学部	医学科	99
看護学科		73	615
計		172	3,492
総合理工学部	物質科学科	134	1,387
	地球資源環境学科	46	519
	数理・情報システム学科	90	1,074
	電子制御システム工学科	76	826
	材料プロセス工学科	44	507
	計	390	4,313
生物資源科学部	生物科学科	30	355
	生態環境科学科	54	607
	生命工学科	30	485
	農業生産学科	33	394
	地域開発科学科	60	670
	計	207	2,511
文理学部		-	3,950
理学部		-	3,510
農学部		-	5,141
合計		1,179	44,110

## ■専攻科他

区	分	2010年度修了者	累計
文学専攻科		-	18
理学専攻科		-	45
教育専攻科		-	232
農学専攻科		-	11
合計		-	306
教育学部 教員養成2年課程		-	1,106

## ■大学院

2011.3.31現在

区	分	2010年度修了者 (単位取得退学含む)	累計
人文社会科学研究科	法経専攻	5	28
	言語・社会文化専攻	9	38
	法学専攻	-	56
	社会システム専攻	-	43
	言語文化専攻	-	32
	計	14	197
	教育学研究科	教育実践開発専攻	17
教育内容開発専攻		25	48
学校教育専攻		-	187
教科教育専攻		-	412
計	42	683	
医学系研究科	形態系専攻	12	158
	機能系専攻	7	170
	生態系専攻	4	51
	計	23	379
	医科学専攻	13	45
	看護学専攻	13	65
計	26	110	
総合理工学研究科	マテリアル創成工学専攻	9	46
	電子機能システム工学専攻	1	21
	計	10	67
	物質科学専攻	36	392
	地球資源環境学専攻	14	160
	数理・情報システム学専攻	22	224
	電子制御システム工学専攻	31	263
	材料プロセス工学専攻	10	114
計	113	1,153	
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	24	43
	農林生産科学専攻	18	30
	環境資源科学専攻	10	29
	生物科学専攻	-	71
	生態環境科学専攻	-	133
	生命工学専攻	-	110
	農業生産学専攻	-	66
	地域開発科学専攻	-	68
	計	52	550
法務研究科	法曹養成専攻	18	95
	計	18	95
理学研究科		-	616
農学研究科		-	739
法学研究科		-	80
合計		298	4,669

## ■博士の学位授与者数

2011.3.31現在

区	分	課程博士		論文博士	
		2010年度	累計	2010年度	累計
医学系研究科		20	357	3	282
総合理工学研究科		11	64	0	5

# 卒業・修了後の状況

## ■学部

2011.5.1現在

区分	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	計
卒業生	240	170	172	390	207	1,179
進学者	24	10	7	163	71	275
産業別内訳						
農業・林業	1			1	5	7
漁業						
鉱業・採石業・砂利採取業						
建設業	3			13	3	19
製造業	10	1		47	20	78
電気・ガス・熱供給・水道業	1			2		3
情報通信業	3	1		17	4	25
運輸業・郵便業	6			1	2	9
卸売業・小売業	21			17	18	56
金融業・保険業	13	1		6	3	23
不動産業・物品賃貸業	1			1	1	3
学術研究・専門・技術サービス業	6			11	2	19
宿泊業・飲食サービス業	4	2		1	1	8
生活関連サービス業・娯楽業	5	2		3		10
教育(学校教育)	10	108	6	33	7	164
学習支援	2	2		8	2	14
医療・福祉	11		60	4	3	78
複合サービス業	7	2		4	13	26
その他のサービス業	4	2		4	2	12
公務(国家)	12	1		4	2	19
公務(地方)	43	18		15	19	95
その他						
就職者計	163	140	66	192	107	668
臨床研修医			94			94
無業者等	53	20	5	35	29	142

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

## ■大学院

2011.5.1現在

区分	人文社会科学研究科	教育学研究科	医学系研究科		総合理工学研究科		生物資源科学研究科	法務研究科	計
			修士	博士一貫	博士前期	博士後期			
修了者	14	42	26	23	113	10	52	18	298
進学者			4		9		4		17
産業別内訳									
農業・林業							4		4
漁業									
鉱業・採石業・砂利採取業									
建設業					10		1		11
製造業	1		1	2	41	1	16		62
電気・ガス・熱供給・水道業					3				3
情報通信業					10		1		11
運輸業・郵便業	1				1		1		3
卸売業・小売業	1				3		2		6
金融業・保険業					1				1
不動産業・物品賃貸業	1								1
学術研究・専門・技術サービス業					6	1	6		13
宿泊業・飲食サービス業	1				1				2
生活関連サービス業・娯楽業									
教育(学校教育)	1	24			11	6	7	3	52
学習支援		1				2			3
医療・福祉		7			7				14
複合サービス業								1	1
その他のサービス業		1				3		2	6
公務(国家)									
公務(地方)	1	1			1	6	1	4	14
その他									
就職者計	7	34	1	21	93	10	41	18	207
無業者等	7	8	21	2	11		7	18	74

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

## ●卒業後の主な就職先・進学先

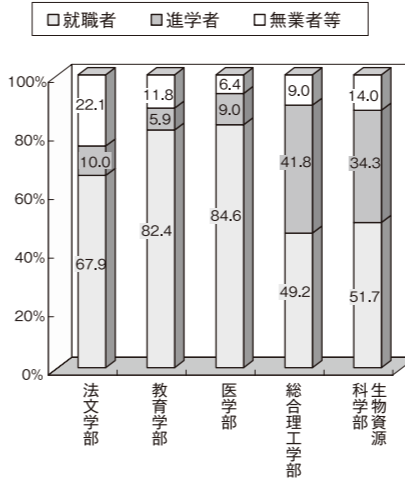
2011.5.1現在

区分	就職先・進学先
法文学部	<p>【就職先】三菱電機住環境システムズ、ミサワホーム中国、デサント、三井住友海上火災保険、ホシザキ中国、堺化学工業、アースサポート、福邦銀行、三ツ矢貿易、そごう・西武、全日本空輸、西日本旅客鉄道、国土交通省、鳥根県庁、鳥根県警、鳥取県庁、山口県庁、山口県警、宮崎県庁、松江市役所、国税専門官、労働基準監督官、神戸税関、安来市役所、境港市役所、宮津市役所、亀岡市役所、赤磐市役所、しまね産業振興財団、鳥取県社会福祉事業団、中国労働金庫、鳥根大学、鳥取大学、JAあしん、JA丹波ひかみ、JAたじま</p> <p>《地元企業》山陰合同銀行、鳥取銀行、鳥根銀行、しまね信用金庫、米子信用金庫、マリエヤしろ、JAバンク鳥根、JAいずも、山陰酸素工業、今井書店、ウェルネス湖北、小西医療機</p> <p>【進学先】鳥根大学大学院、岡山大学大学院、岡山大学法科大学院、関西学院大学法科大学院、立命館大学大学院、南山大学法科大学院、広島大学大学院、広島大学法科大学院、兵庫県立大学大学院、静岡大学法科大学院</p>
教育学部	<p>【就職先】小学校教員(鳥根県、鳥取県、岡山県、広島県、広島市、兵庫県、神戸市、長崎県、北九州市、大阪府、大阪市、京都府、名古屋市、静岡県、神奈川県)、中学校教員(鳥根県、広島県、山口県、兵庫県、京都府)、幼稚園教員(倉吉市)、特別支援学校教員(鳥根県、大阪府)、国立青少年教育振興機構、日本コルマー、ヤマハ音楽振興会、公文教育研究会、さなる、郵便局株式会社、国家公務員(刑務官)、鳥根県庁、鳥根県警、広島県警、鳥取県警、鳥取県消防局、岡山市役所、庄原市役所</p> <p>《地元企業》JAバンク鳥根、アイ・コミュニケーション、マリエヤしろ</p> <p>【進学先】鳥根大学大学院、鳥取大学大学院、広島大学大学院、大阪教育大学大学院、福岡教育大学大学院</p>
医学部	<p>【医学科】臨床研修先)鳥根大学医学部附属病院、鳥根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院、浜田医療センター、東京大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、広島大学病院、岡山大学病院、山口大学医学部附属病院、九州大学病院 など</p> <p>【看護学科】就職先)鳥根大学医学部附属病院、松江赤十字病院、鳥根県(保健師)、鳥根県立学校(養護教諭)、益田地域医療センター医師会病院、鳥取大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、神戸大学医学部附属病院、九州大学病院 など</p>
総合理工学部	<p>【就職先】中学校・高校教員、スズキ、クリハラント、ヤンマーキャストテクノ、大分信用金庫、アルプス技研、協和エクシオ、三菱重工プラント建設、コジマ、オムロン阿蘇、三菱電機ビルテクノサービス、西日本旅客鉄道、鳥根三洋工業、きんでん、積水ハイム中国四国、吉川化成、サンワサプライ、ユウシン、東海牛乳、ホシザキ中国、日本事務機、両備システムソリューションズ、サンテクノス、広西建設、はるやま商事、日本コルマー、鳥取県庁、鳥根県警、広島県警、長崎県警、長野県警、富山県警、九州財務局、鳥取大学、廿日市市役所、三次市役所、労働基準監督官、国立大学等法人職員</p> <p>《地元企業》安来製作所、ヒラタ精機、山陰酸素工業、JAいずも、鳥根中央信用金庫、寿製菓、プロビスモ、さんれいフーズ</p> <p>【進学先】鳥根大学大学院、大阪市立大学大学院、九州大学大学院、鳴門教育大学大学院、神戸大学大学院、金沢大学大学院、岡山大学教職大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、東北大学大学院、広島市立大学大学院、電気通信大学大学院、首都大学東京大学院、奈良先端科学技術大学院大学</p>
生物資源科学部	<p>【就職先】大鉄工業、赤城医科器械、児湯食品、JAまにわ、JAたじま、JA全農青果、日本システムデバイス開発、バイエル薬品、ヤスハラケミカル、コココーラウエスト、名古屋製酪、フジパンググループ、キセキ中国、アイリスオーヤマ、農林水産省、鳥根県庁、鳥取県庁、広島県庁、新潟県庁、四国中央市役所、浜松市役所</p> <p>《地元企業》出雲村田製作所、大山どり、井ヶ谷竹内、JAくにびき、JAいずも、JA雲南、JAやすぎ、JA鳥取西部、大山乳業、鳥根県土地改良事業団連合会</p> <p>【進学先】鳥根大学大学院、岡山大学大学院、奈良先端科学技術大学院、甲南大学大学院、岡山大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、京都大学大学院、金沢大学大学院、神戸大学大学院、鳥取大学大学院、東北大学大学院、東京大学大学院</p>

\*順不同。大学院修了者の就職先含む

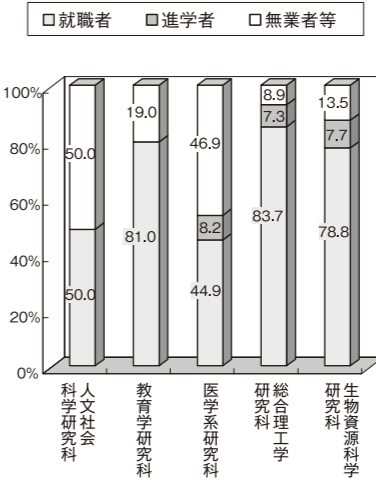
## ●卒業・修了後の状況(2011.5.1)

### ◆学部



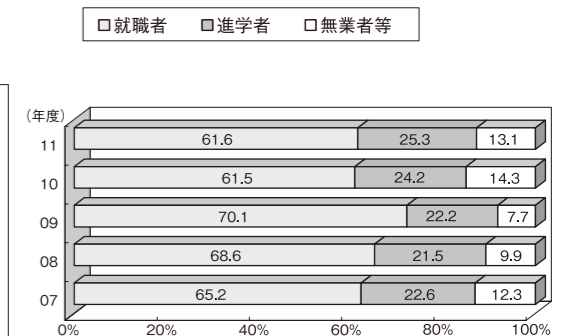
(注)医学部は、臨床研修医を含まない。

### ◆大学院



(注)法務研究科は含まない(修了者が少ないため)。

## ●卒業後の状況の推移(学部)



(注)各年度の5月1日現在のデータである。

# 公開講座・公開授業(2010年度)

## ■公開講座

□…有料 □…無料

講座名	時間数	募集人員	受講者数	開設場所	実施部局
グリム童話をドイツ語で読みましょう。	10	10	13	松江キャンパス	外国語教育センター
硬式テニス教室	20	30	40	学内テニスコート	教育学部
こども硬式テニス教室1-A 小学校低学年対象	8	30	17	学内テニスコート	教育学部
こども硬式テニス教室1-B 小学校高学年対象	12	30	28	学内テニスコート	教育学部
水耕トマトに触れて育てよう	4.5	15	14	本庄総合農場	生物資源科学部
育てて食べよう黒ダイズ	7.5	20	25	本庄総合農場	生物資源科学部
サツマイモを栽培しよう	6	25	13	本庄総合農場	生物資源科学部
楽しいブルーベリー栽培	12	15	20	本庄総合農場	生物資源科学部
泳げない子の水泳教室	12	20	23	学内プール	教育学部
少しだけ泳げる子の水泳教室	12	20	28	学内プール	教育学部
日本の教育・アメリカの教育・これからの教育	8	15	5	松江キャンパス	教育学部
環境寺子屋による自然科学教室	4.5	15	20	松江キャンパス	教育学部
体験しよう！現在の小学校の授業	6	20	7	松江キャンパス	教育学部
松江の名産西条柿に親しもう	6	30組	75	本庄総合農場	生物資源科学部
基礎医学から未来の科学的健康をめざして	2	50	45	松江スティックビル	医学部
感染症入門講座	6	50	8	出雲キャンパス	医学部
理科実験講座1 自然の中の放射線	2.5	15	9	出雲科学館	総合科学研究支援センター
理科実験講座2 はじめての実験動物学	2.5	15	15	出雲科学館	総合科学研究支援センター
理科実験講座3 台所は実験室	2.5	15	20	出雲科学館	総合科学研究支援センター
理科実験講座4 顕微鏡の世界	3	20	23	出雲キャンパス	総合科学研究支援センター
わが国における「医療の質」を考える	4.5	20	21	松江キャンパス	医学部
夏休み子供科学教室「体の仕組みと健康について勉強しよう」	2	20	23	出雲キャンパス	医学部
お口の探検ツアー	3	10	7	出雲キャンパス	医学部
脂質栄養と健康 松江市会場	2	100	93	島根県民会館	医学部
脂質栄養と健康 大田市会場	2	100	140	JA石見銀山	医学部
脂質栄養と健康 隠岐会場	2	100	42	知夫村役場	医学部
脂質栄養と健康 益田市会場	2	100	90	島根県芸術文化センター	医学部
脂質栄養と健康 出雲市会場	2	100	150	出雲キャンパス	医学部
地域再生システム特論	27.5	50	7	松江キャンパス	生物資源科学部
中海・宍道湖の現状と将来の展望 ～環境・資源・生態系～	6	20	20	松江キャンパス	汽水域研究センター
硬式テニス教室 初級・中級・上級II	20	30	51	学内テニスコート	教育学部
こども硬式テニス教室2A 小学校低学年対象	8	30	32	学内テニスコート	教育学部
こども硬式テニス教室2B 小学校高学年対象	12	30	34	学内テニスコート	教育学部
版画講座	8	7	7	松江キャンパス	教育学部
金曜日のドイツ語	10	15	12	松江キャンパス	外国語教育センター
郷土の作物と触れ合いながら豊かな年越しを！	8	20	20	本庄総合農場	生物資源教育研究センター
使ってみよう！ワープロソフト・ワード	8	25	17	松江キャンパス	生物資源科学部
上級者へステップアップ！ワープロソフト・ワード	8	25	14	松江キャンパス	生物資源科学部
仕事で使える「エクセル」上級スキルをマスターする	24	20	14	松江キャンパス	生涯学習教育研究センター
あなたの健康を考える	2.5	40	38	出雲キャンパス	医学部
市民公開講座 「最も多い眼の病気～緑内障と白内障」	3	200	71	出雲キャンパス	医学部
基礎医学から未来の科学的健康をめざして：体内時計の謎	2	50	37	松江スティックビル	医学部
「国語」の新視点	10.5	30	14	松江キャンパス	教育学部
金属素材による工芸品制作体験	7	10	8	松江キャンパス	教育学部
松江地域文化を語る	4	30	20	松江キャンパス	生物資源科学部
第6回島根まるごとミュージアム体験ツアー	9	50	40	大田市・美郷町	ミュージアム

## ■公開授業

講座名	回数	募集人員	受講者数	開設場所	実施部局
東アジアのこぼれと文学～七言絶句を作る～	13	10	1	学内	法文学部
歴史学概論	13	10	2	学内	法文学部
情報化社会と経済	13	5	2	学内	法文学部
汽水域の科学	13	無制限	1	学内	汽水域研究センター
細胞学	13	5	2	学内	生物資源科学部
平和～「平和レシビ」のつくり方～	13	5	6	学内	法文学部他
日本国憲法	13	無制限	2	学内	法文学部
山陰の歴史～古代・中世	13	無制限	15	学内	法文学部
心の世界	13	無制限	11	学内	法文学部
地園の歴史	13	5	2	学内	法文学部
古代出雲の考古学	13	無制限	14	学内	法文学部
日本国憲法～知らないこと損する!?憲法の使い方入門	13	5	3	学内	法文学部
人類史と考古学	13	10	3	学内	法文学部
日本国憲法	13	無制限	1	学内	法文学部
遺伝学	13	3	1	学内	生物資源科学部
王朝の文学	13	15	18	学内	法文学部
心の形成	13	10	2	学内	法文学部
異文化との出会い	13	10	2	学内	法文学部
医療人類学	13	5	1	学内	医学部
島根学～島根の医学・医療と文化の歩み～	13	20	0	学内	医学部
環境の化学	13	10	0	学内	総合理工学部
エレクトロニクスのはなし	13	5	0	学内	総合理工学部
基礎社会学I	13	5	0	学内	法文学部
英米の文学～アメリカ文学と人種・ジェンダー・階級～	13	3	0	学内	法文学部
電気と磁気の物理学	13	5	1	学内	総合理工学部

講座名	回数	募集人員	受講者数	開設場所	実施部局
日本人の宗教と死生観	13	10	6	学内	法文学部
東アジアの歴史と文化(歴史のなかの国家II)	13	10	11	学内	法文学部
情報と地域～オープンソースと地域振興～	13	無制限	1	学内	総合情報処理センター
基礎社会学II～家庭・地域について考える～	13	3	2	学内	法文学部
環境問題通論A～21世紀に生きるための基礎知識～	13	10	0	学内	教育学部
森林から耕地、海へ	13	若干名	0	学内	生物資源教育研究センター
考古学概論I	13	10	1	学内	法文学部
イギリス文学基礎演習I	13	3	3	学内	法文学部
フランス文化入門～フランスの生成と文化的特徴～	13	10	7	学内	法文学部
東洋史概説A	13	3	1	学内	法文学部
考古学特論B	13	無制限	0	学内	法文学部
生産技術基礎実習I	13	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部
木によるものづくり実習III	13	5	0	学内	教育学部
共生社会史	13	5	0	学内	教育学部
日本史概説A	13	無制限	3	学内	法文学部
地域産業特論	13	5	0	学内	法文学部
社会保障法I	13	無制限	1	学内	法文学部
地誌学概説～地誌書の作成による地域理解～	13	無制限	0	学内	教育学部
地域産業論I	13	5	0	学内	法文学部
共生社会演習(人文地理学)～人文地理学講義～	13	無制限	0	学内	教育学部
財政学I	13	無制限	1	学内	法文学部
生産技術基礎実習III	13	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
電気電子工学概論～デジタル電子技術の基礎～	13	5	1	学内	総合理工学部
耕地生産技術管理論	13	5	0	学内	生物資源科学部
西洋史概説A	13	10	2	学内	法文学部
文化人類学入門	13	10	3	学内	法文学部
植物細胞工学	13	5	1	学内	総合科学研究支援センター
自然地理学I	13	5	0	学内	法文学部
農業管理論	13	5	0	学内	生物資源科学部
労働法I	13	無制限	1	学内	法文学部
果実発育生理学	13	3	0	学内	生物資源科学部
金融論I	13	5	6	学内	法文学部
生産技術基礎実習III	13	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
人文地理学概説II	13	無制限	0	学内	教育学部
情報産業論	13	5	0	学内	法文学部
高分子科学	13	5	0	学内	総合理工学部
日本古典文学特殊講義～歴史物語の形成と継承～	13	無制限	5	学内	教育学部
歴史学史料演習G～「憲法義解」(日本語版・英訳本)を読む～	13	3	0	学内	法文学部
木によるものづくり実習I	13	5	3	学内	教育学部
西洋史概説B	13	10	0	学内	法文学部
中国文学における風土と人間	13	10	1	学内	法文学部
現代経済へのアプローチ	13	5	8	学内	法文学部
考古学からみた古代山陰の世界	13	10	11	学内	法文学部
遺伝子を考える	13	5	0	学内	生物資源科学部
生命科学の歴史と倫理	13	10	1	学内	医学部
汽水域の科学(応用編)	13	10	1	学内	汽水域研究センター
環境問題通論B	13	10	2	学内	教育学部
動物の世界	13	若干名	1	学内	生物資源科学部
プレートテクトニクス	13	10	4	学内	総合理工学部
遺伝と生物学	13	15	3	学内	生物資源科学部
島大ミュージアム学	13	10	5	学内	ミュージアム
技術と社会	13	10	1	学内	総合理工学部
特別講義(Rubyプログラミング)	13	5	0	学内	総合情報処理センター
森林の生態と環境保全	13	若干名	2	学内	生物資源科学部
情報科学演習B6	13	5	1	学内	教育学部
考古学概論II	13	10	5	学内	法文学部
考古学特論C	13	10	2	学内	法文学部
情報経済論	13	5	1	学内	法文学部
地域産業論II	13	5	1	学内	法文学部
東洋史概説B	13	10	11	学内	法文学部
生産技術基礎実習II	13	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部
木によるものづくり実習II	13	5	4	学内	教育学部
財政学II	13	5	0	学内	法文学部
労働法II	13	10	2	学内	法文学部
地方財政論	13	5	3	学内	法文学部
生産技術基礎実習IV	13	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
日本史特論A	13	10	5	学内	法文学部
アメリカ文学応用演習II	13	5	2	学内	法文学部
自然地理学II	13	5	3	学内	法文学部
西洋史特論B	13	5	7	学内	法文学部
環境経済論II	13	若干名	0	学内	法文学部
風土環境論	13	10	4	学内	教育学部
金融論II	13	6	5	学内	法文学部
木と木工の知識	13	5	1	学内	教育学部
環境土壌学II	13	若干名	1	学内	生物資源科学部
経済学概論	13	5	4	学内	法文学部
日本文学史I～王朝物語の世界～前半～	13	10	8	学内	教育学部



## 科学研究費補助金等の受入状況(2010年度)

### ■科学研究費補助金

研究種目	件数	金額(千円)
基盤研究(A)	3	10,536
基盤研究(B)	29	114,330
基盤研究(C)	108	105,989
挑戦的萌芽研究	13	15,330
若手研究(A)	1	910
若手研究(B)	64	62,252
研究活動スタート支援	4	4,410
特別研究員奨励費	6	4,600
奨励研究	6	3,090
研究成果公開促進費	2	5,990
計	236	327,437

※研究活動スタート支援は、若手研究(スタートアップ)から名称変更

### ■民間等との共同研究

件数	金額(千円)
96	100,214

### ■受託研究

件数	金額(千円)
62	272,999

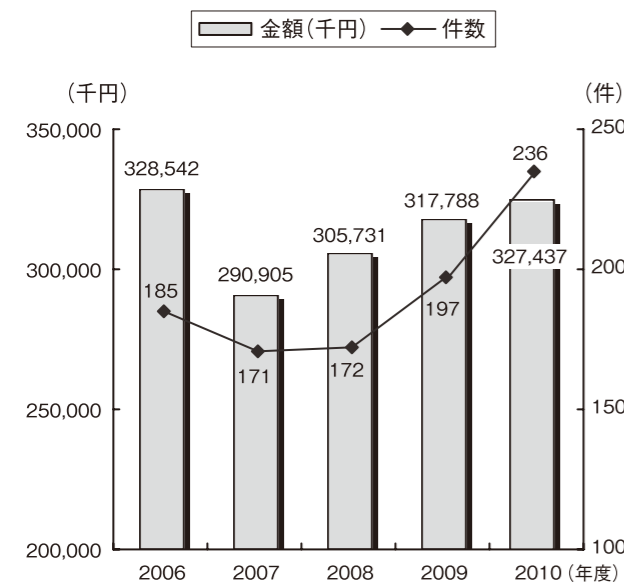
### ■寄付金

件数	金額(千円)
591	535,978

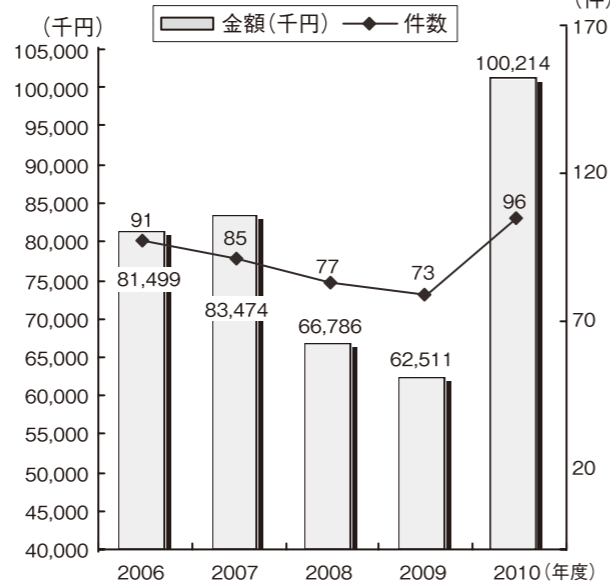
### ■発明届出等状況

発明届件数	出願件数
16	16

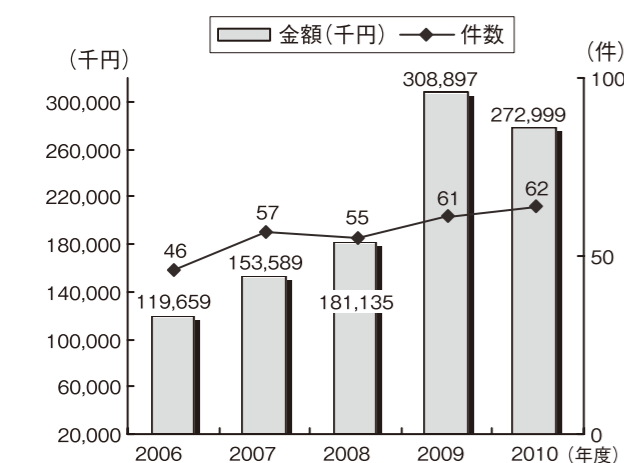
### ●科学研究費補助金受入状況



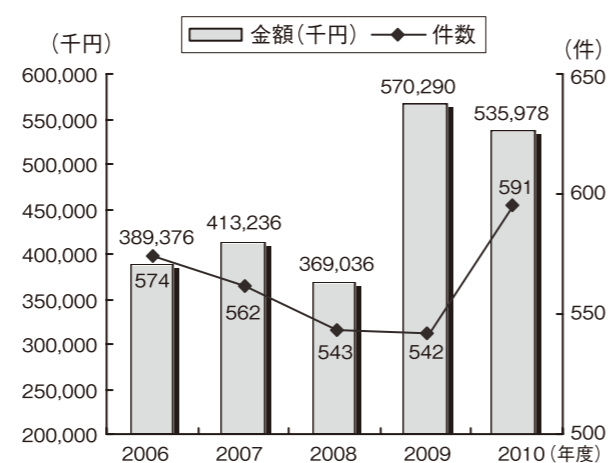
### ●民間等との共同研究実施状況



### ●受託研究受入状況



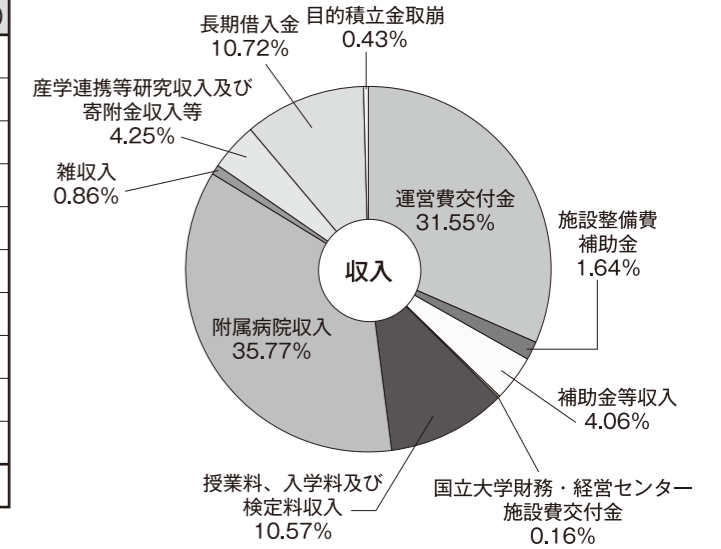
### ●寄付金受入状況



## 収入・支出決算額(2010年度)

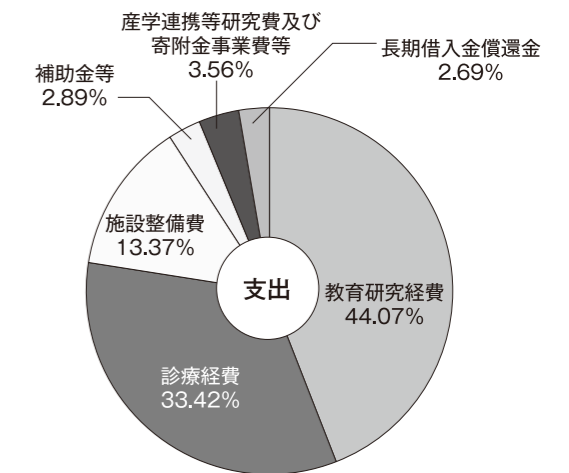
### ■収入

区分	金額(百万円)
運営費交付金	10,708
施設整備費補助金	556
補助金等収入	1,377
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53
授業料、入学金及び検定料収入	3,587
附属病院収入	12,143
雑収入	293
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,441
長期借入金	3,640
目的積立金取崩	145
合計	33,943

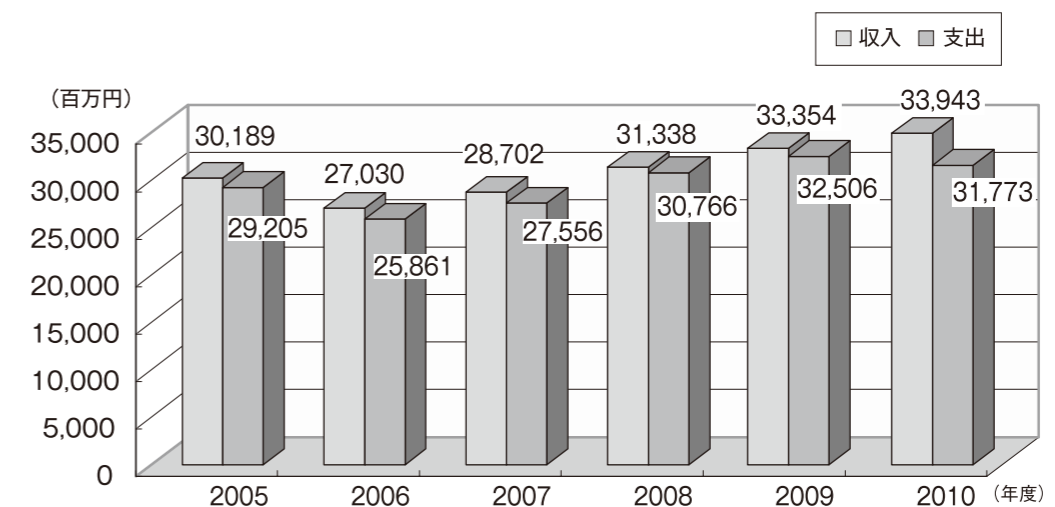


### ■支出

区分	金額(百万円)
教育研究経費	14,002
診療経費	10,618
施設整備費	4,249
補助金等	918
産学連携等研究費及び寄附金事業費等	1,130
長期借入金償還金	856
合計	31,773



### ●収入・支出(歳入・歳出)の推移

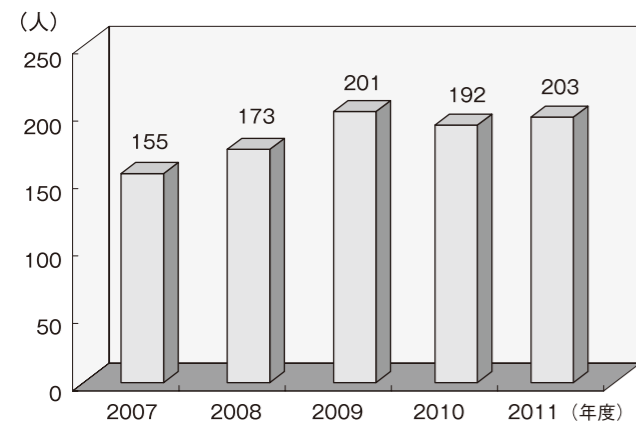


# 外国人留学生の受入状況

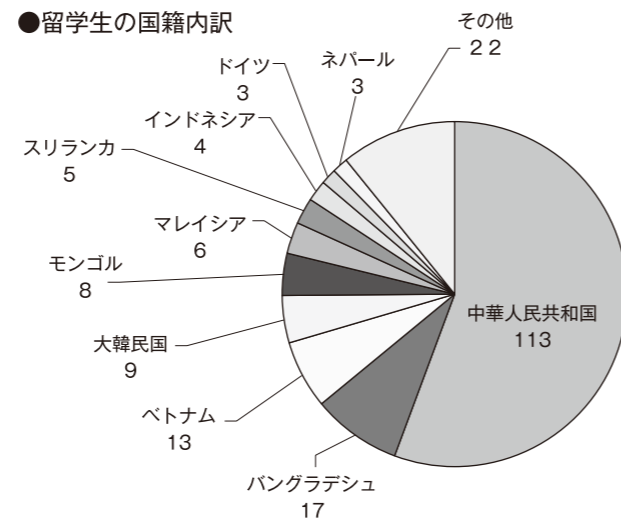
2011.5.1現在

学部等 国籍	法文学部			教育学部		医学部		総合理工学部			生物資源科学部			鳥取大学連合農学研究所		総計						
	学部学生	大学院学生	研究生等	大学院学生	研究生等	大学院学生	研究生等	学部学生	大学院学生	研究生等	学部学生	大学院学生	研究生等	大学院学生	大学院学生							
中華人民共和国	11	6	13	30	3	3	6	12	4	16	15	12	3	30	10	10	2	22	9	9	113	
バングラデシュ								8		8		2		2		3		3	4	4	17	
ベトナム											7	1		8		5		5			13	
大韓民国	3		1	4	1	3	4												1	1	9	
モンゴル			1	1				3		3		4		4							8	
マレーシア	1			1							5			5							6	
スリランカ												5		5							5	
インドネシア								2		2		2		2							4	
ドイツ			3	3																	3	
ネパール											1		1	1	1	1	1				3	
アメリカ合衆国			1	1		1	1														2	
エジプト											1		1	1	1	1					2	
コロンビア																1	1	1	1		2	
フランス			2	2																	2	
ミャンマー								1		1		1		1							2	
イギリス								1		1											1	
カンボジア											1			1							1	
ギニア													1	1							1	
キューバ																1	1				1	
キルギス												1		1							1	
ケニア																			1	1	1	
コンゴ民主共和国								1		1											1	
ナイジェリア																				1	1	1
ニカラグア												1		1							1	
ペラルーシ							1	1													1	
モロッコ							1	1													1	
台湾	1			1																	1	
総計	16	6	21	43	4	9	13	28	4	32	28	31	4	63	15	16	3	34	18	18	203	

●留学生数の推移



●留学生の国籍内訳



# 外国への留学状況

2011.5.1現在

## ■交換留学

派遣先	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	総計
アメリカ	1	0	0	0	1	2
ドイツ	2	1	0	0	0	3
フランス	4	0	0	0	0	4
総計	7	1	0	0	1	9

## ■その他留学

2011.5.1現在

派遣先	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	総計
アメリカ	2	0	0	0	0	2
カナダ	1	0	0	0	0	1
イギリス	0	0	1	0	0	1
総計	3	0	1	0	0	4

# 短期海外研修(2010年度)への参加状況

2010年度

派遣先	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	総計
アメリカ (アーカンソー大学)	1	2	1	1	1	6
カナダ (ウォータールー大学)	2	1	1	0	2	6
韓国 (慶尚大学校)	0	2	0	1	1	4
中国 (寧夏大学)	2	2	0	0	1	5
総計	5	7	2	2	5	21

# 奨学生数

2011.3.1現在

区分	学生数	日本学生支援機構			比率
		第一種	第二種	計	
法文学部	1,013	208	311	519	51.2
教育学部	707	142	224	366	51.8
医学部	863	132	234	366	42.4
総合理工学部	1,810	305	629	934	51.6
生物資源科学部	905	175	301	476	52.6
計	5,298	962	1,699	2,661	50.2
人文社会科学研究科	18	8	4	12	66.7
教育学研究科	64	20	3	23	35.9
医学系研究科					
博士課程	124	3	1	4	3.2
修士課程	62	6	0	6	9.7
総合理工学研究科					
博士前期課程	223	107	26	133	59.6
博士後期課程	19	9	0	9	47.4
生物資源科学研究科	100	46	12	58	58.0
法務研究科	57	14	7	21	36.8
計	667	213	53	266	39.9
合計	5,965	1,175	1,752	2,927	49.1

# 定期刊行文献

## ●学術雑誌

発行部局等名	文献誌名	編集	発行回数(年)
法文学部	島根大学	法経学科・法務研究科	4
	経済科学論集	法経学科	1
	社会文化論集	社会文化学科	1
	島大言語文化	言語文化学科	2
	山陰研究	山陰研究センター	1
教育学部	島根大学教育学部紀要(教育学、人文・社会科学、自然科学)	教育学部	1
	島根大学教育臨床総合研究	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教育学部心理臨床・教育相談室紀要	教育学部心理臨床・教育相談室	1
	附属小学校研究紀要	附属小学校	1
	附属中学校研究紀要	附属中学校	1
	附属学校園研究紀要	附属学校園	1
医学部	島根大学医学部紀要、Shimane Journal of Medical Science	医学部	1
総合理工学部	島根大学総合理工学部紀要	総合理工学部	1
	島根大学地球資源環境学研究報告	総合理工学部地球資源環境学科	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部研究報告	生物資源科学部	1
法務研究科	島根大学法文学部紀要法経学科・法務研究科篇(島根大学)	法文学部法経学科・法務研究科	4
生涯学習研究センター	島根大学生涯学習研究センター年報	生涯学習研究センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学総合科学研究支援センター教育研究活動報告	総合科学研究支援センター	1
汽水域研究センター	島根大学汽水域研究センター年次報告	汽水域研究センター	1
外国語教育センター	島根大学外国語教育センタージャーナル	外国語教育センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	1

## ●広報紙等

発行部局等名	文献紙名	編集	発行回数(年)
総務課	島根大学概要	広報室	1
	島根大学案内	広報室	1
	広報しまだい	広報室	4
	be	広報室	1
法文学部	島根大学法文学部(学部案内)	法文学部	1
教育学部	島根大学教育学部(学部案内)	教育学部	1
	ShimanEdu.[シマネージュ]	教育学部	不定期
	1000時間体験学修	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教員免許状更新講習パンフレット	教育学部附属教師教育研究センター	1
	こころとそだちの相談室	教育学部心理・発達臨床相談室	1
	園要覧(附属幼稚園)	附属幼稚園	1
	おりづる	附属幼稚園	5
	学校要覧(附属小学校)	附属小学校	1
	附小だより	附属小学校	6
	ちどり	附属小学校	3
	学校要覧(附属中学校)	附属中学校	1
若樹	附属中学校	3	
医学部	島根大学医学部(学部案内)	医学部	1
医学部附属病院	病院ニュース しろうさぎ	附属病院	4
総合理工学部	島根大学総合理工学部(学部案内)	総合理工学部	1
総合理工学研究科	島根大学大学院総合理工学研究科(博士前期課程)(研究科案内)	総合理工学研究科	不定期
	島根大学大学院総合理工学研究科(博士後期課程)(研究科案内)	総合理工学研究科	不定期
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部(学部案内)	生物資源科学部	1
	生物資源科学部だより	生物資源科学部	2
法務研究科	島根大学法科大学院(山陰法科大学院)パンフレット	法務研究科	1
	島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)地域法律相談センター案内	法務研究科	1
附属図書館	島根大学附属図書館概要	図書情報課	3年毎
	島根大学附属図書館年報	図書情報課	1
	島根大学附属図書館報: 淞雲	図書情報課	2
	本館ニュース「Li Me ライム」	図書情報課	毎月
	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」	図書情報課	毎月
保健管理センター	保健管理センターのしおり	保健管理センター	1
生涯学習教育研究センター	島根大学生涯学習教育研究センター年報	生涯学習教育研究センター	1
	島根大学生涯学習教育研究センターパンフレット	生涯学習教育研究センター	不定期
総合情報処理センター	島根大学総合情報処理センター(概要)	総合情報処理センター	不定期
	島根大学総合情報処理センター・News Letter	総合情報処理センター	1
産学連携センター	島根大学研究シーズ集	産学連携センター	不定期
	島根大学産学連携センター年報	産学連携センター	1
	島根大学産学連携センター・ニュースレター	産学連携センター	1
ミュージアム	島根大学ミュージアム・ニュースレター	ミュージアム	不定期
	島根大学ミュージアム年報	ミュージアム	1
教育開発センター	島根大学教育開発センター年報	教育開発センター	1
	島根大学教育開発センターパンフレット	教育開発センター	不定期
	島根大学優良教育実践表彰者の声	教育開発センター	1
	島根大学「学生による授業評価」速報	教育開発センター	2
	島根大学卒業生・修了生に対する教育成果の検証に関する調査報告書	教育開発センター	1
入試センター	高大接続研究	入試センター	1
男女共同参画推進室	島根大学男女共同参画推進室メールマガジン「さぼっと通信」	男女共同参画推進室	不定期
	島根大学男女共同参画推進室事業報告書	男女共同参画推進室	不定期
	島根大学男女共同参画推進室リーフレット	男女共同参画推進室	1
国際交流センター	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS	国際交流センター	1
	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS(大学院版)	国際交流センター	1
	島根大学リーフレット	国際交流センター	不定期

# 土地・建物

2011.5.1現在

区分	土地	建物		備考
		延面積	床面積	
松江キャンパス	m	m	m	
西川津地区	176,931	38,261	117,932	
本部管理棟		704	2,789	
法文学部		1,921	7,631	
教育学部		4,132	16,554	
総合理工学部		6,952	34,541	1,2,3号館
生物資源科学部		5,047	22,342	1,2,3号館
生物資源科学部附属施設		1,259	1,367	水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材室
教養講義室		1,301	4,292	1,2号館
大学ホール		820	831	
附属図書館		2,035	6,826	
遺伝子実験施設		515	1,514	
保健管理センター		256	474	
総合情報処理センター		361	683	
ミュージアム		155	155	
汽水域研究センター		250	774	
古代出雲研究施設		65	130	
光物性実験室		53	53	
動物飼育室		50	50	
体育施設		4,863	5,293	第一、第二体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場
学生センター		782	1,400	
学生支援センター		345	656	
大学会館松江		877	2,166	
学生食堂		1,592	1,636	学生食堂、第二食堂
課外活動施設		515	1,976	
環境安全施設		180	180	
有機廃液焼却施設		93	93	
中央監視室		69	69	
特高受変電室棟		168	336	
その他		2,901	3,121	倉庫建及び雑屋建
深町地区(学寮)	23,711	2,036	4,334	
大輪地区	54,654	8,328	15,305	
教育学部附属幼稚園		732	896	園舎、物置器具置場、渡廊下
教育学部附属小学校		3,860	7,406	
教育学部附属中学校		3,736	7,003	
その他の地区				
汽水域研究センター-中海分室	3,123	410	377	
国際交流会館松江	3,182	435	830	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター				
森林部門	5,708,567	464	686	三瓶演習林、匹見演習林、松江試験地
農業生産科学部門	272,500	5,196	6,025	本庄総合農場、神西砂丘農場、三瓶山麓農場
海洋生物科学部門	4,318	743	1,305	隠岐臨海実験所
第2運動場	4,864	74	74	
朝酌艇庫	1,315	304	364	
研究者交流会館	1,119	347	503	
産学連携センター(松江)		668	1,141	地域産業共同研究部門、知的財産創活部門、連携企画推進部門
その他	1,825			京田、曲り田
出雲キャンパス	220,198	40,485	127,320	
本部棟		981	3,351	
講義棟		661	1,915	
実習棟		1,180	4,525	
基礎研究棟		631	4,932	
臨床研究棟		903	4,647	
共同研究棟		601	2,312	
第二研究棟		754	3,715	
第二共同研究棟		395	1,087	
第三共同研究棟		216	420	
第四共同研究棟		207	415	
RI-動物実験施設		1,201	3,944	
医学図書館		1,026	2,232	
附属病院棟		14,038	57,977	外来・中央診療棟、病棟
高エネルギー診療棟		1,156	1,270	
臨床講義棟		884	1,434	
大学会館出雲		833	1,998	
体育館		1,315	1,175	
武道場		437	402	武道場、弓道場
中央機械室		1,923	2,567	
医学部会館		451	586	
保育所		186	186	
MRI-CT装置棟		531	531	
病室		175	482	
第三研究棟		333	1,335	
RI研究棟		193	428	
塵芥焼却炉室・発電機室		300	300	
国際交流会館出雲		412	843	
看護学科棟		1,211	6,189	
看護師宿舎		984	4,007	
廃水処理施設管理室		340	336	
FI排水処理施設		216	259	
特高受変電棟		215	410	
産学連携センター(出雲)		846	2,268	地域医学共同部門
立体駐車場		3,921	7,771	
その他		829	1,071	

# 連絡先一覧

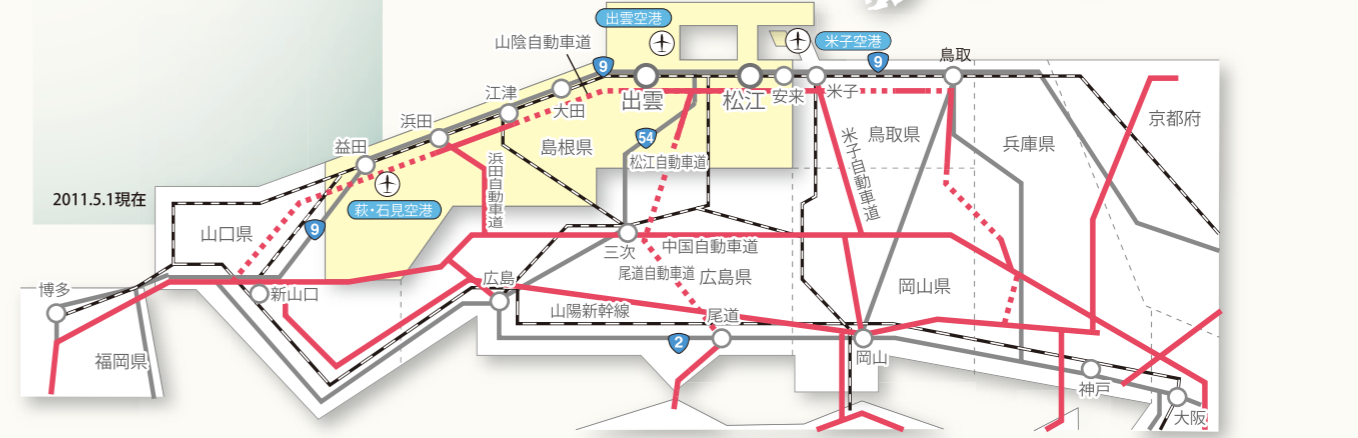
大学ホームページ <http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: [webinfo@jn.shimane-u.ac.jp](mailto:webinfo@jn.shimane-u.ac.jp)

学部等	電話	E-mail
法文学部	0852-32-6113	hor-soumu1@jn.shimane-u.ac.jp
教育学部	0852-32-6251	kyo-soumu@jn.shimane-u.ac.jp
附属教育支援センター	0852-32-9836	aces@edu.shimane-u.ac.jp
附属教師教育研究センター	0852-32-6495	crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp
附属FD戦略センター	0852-32-9850	
附属幼稚園	0852-29-1120	sora@edu.shimane-u.ac.jp
附属小学校	0852-29-1200	yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp
附属中学校	0852-29-1300	shimafu@edu.shimane-u.ac.jp
医学部	0853-20-2015	igak-sokac@jn.shimane-u.ac.jp
医学部附属病院	0853-20-2061	renkei@med.shimane-u.ac.jp
総合理工学部	0852-32-6095	hri-soumu2@jn.shimane-u.ac.jp
生物資源科学部	0852-32-6492	toiawase@life.shimane-u.ac.jp
附属生物資源教育研究センター	0852-34-0311	ercbr@life.shimane-u.ac.jp
法務研究科	0852-32-9835	houka-in@jn.shimane-u.ac.jp

附属施設・学内共同教育研究施設等	電話	E-mail	
附属図書館	本館（松江キャンパス） 医学図書館（出雲キャンパス）	0852-32-6083 0853-20-2090	library@lib.shimane-u.ac.jp m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp
保健管理センター	松江キャンパス 出雲キャンパス	0852-32-6568 0853-20-2098	
総合企画室		0852-32-6605	
評価室		0852-32-6605	
広報室		0852-32-6603	
教育開発センター		0852-32-9860	cerd@soc.shimane-u.ac.jp
入試センター		0852-32-6073	nyu-nyushi@jn.shimane-u.ac.jp
キャリアセンター		0852-32-6061	
国際交流センター		0852-32-9756	international@jn.shimane-u.ac.jp
生涯学習教育研究センター		0852-32-6408	ercll@edu.shimane-u.ac.jp
総合情報処理センター		0852-32-6091	center@ipc.shimane-u.ac.jp
汽水域研究センター		0852-32-6099	kisui@soc.shimane-u.ac.jp
産学連携センター			
地域産業共同研究部門		0852-60-2290	
知的財産創造部門		0852-60-2290	
連携企画推進部門（松江キャンパス）		0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）		0853-20-2912	cmrc@med.shimane-u.ac.jp
総合科学研究支援センター			
・松江キャンパス	遺伝子機能解析分野 RI実験施設	0852-32-6109 0852-32-6109	idenshi@life.shimane-u.ac.jp
・出雲キャンパス	物質機能解析分野 実験動物分野 生体情報・RI実験分野	0852-32-6122 0853-20-2363	katsube@riko.shimane-u.ac.jp crlshp@med.shimane-u.ac.jp
外国語教育センター		0852-32-9837	
ミュージアム		0852-32-6496	museum@riko.shimane-u.ac.jp
プロジェクト研究推進機構		0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
男女共同参画推進室		0852-32-9766	kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp
島根大学・寧夏大学国際共同研究所		0852-32-9735	kks-kouryu@jn.shimane-u.ac.jp

事務組織	電話	E-mail	
総務部	総務課	0852-32-6603	jsy-bunsyo@jn.shimane-u.ac.jp
	人事労務課	0852-32-6018	sji-syokuin@jn.shimane-u.ac.jp
財務部	財務課	0852-32-6023	
	経理・調達課	0852-32-6027	zke-keiyaku1@jn.shimane-u.ac.jp
	施設企画課/施設整備課	0852-32-6044	zki-soumu@jn.shimane-u.ac.jp
監査室		0852-32-6026	zza-kansa@jn.shimane-u.ac.jp
学術国際部	研究協力課	0852-32-6056	
	国際交流課	0852-32-6106	
	情報企画課	0852-32-6248	jka-jyohou@jn.shimane-u.ac.jp
	図書情報課	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
教育・学生支援部	教育・入試企画課	0852-32-6052	gak-kyoumu@jn.shimane-u.ac.jp
	学務課	0852-32-7029	
	学生支援課	0852-32-6062	gga-shien@jn.shimane-u.ac.jp

# アクセス



## 松江キャンパス

- 空路**
- 東京(羽田)→出雲 約1時間20分
  - 福岡→出雲 約1時間10分
  - 大阪(伊丹)→出雲 約1時間
  - ※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分) J R松江駅下車
  - 東京(羽田)→米子 約1時間15分
  - ※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分) J R松江駅下車

- J R**
- 東京→岡山→松江 約6時間
  - 福岡→岡山→松江 約4時間30分
  - 大阪→岡山→松江 約3時間10分

- 高速バス**
- 東京(渋谷)→松江 約10時間35分
  - 大阪(梅田)→松江 約4時間40分
  - 岡山→松江 約3時間
  - 広島→松江 約3時間15分
  - 福岡→松江 約9時間

- JR松江駅より**
- 市営バス** 北循環線内回り 島根大学前下車 約15分
  - 大学・川津 島根大学前下車 約25分
  - ※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」等もあります。
  - 一畑バス** 美保関ターミナル 島根大学前下車 約20分
  - マリンゲート 島根大学前下車 約20分
  - ※他に「東高校」「ソフトビジネスパーク」等もあります。



## 出雲キャンパス

- 空路**
- 東京(羽田)→出雲 約1時間20分
  - 福岡→出雲 約1時間10分
  - 大阪(伊丹)→出雲 約1時間
  - ※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行(約25分) J R出雲市駅下車

- J R**
- 東京→岡山→出雲市 約6時間30分
  - 福岡→岡山→出雲市 約4時間35分
  - 大阪→岡山→出雲市 約3時間45分

- 高速バス**
- 東京(渋谷)→出雲 約12時間
  - 大阪(梅田)→出雲 約5時間30分
  - 岡山→出雲 約4時間
  - 広島→出雲 約3時間15分
  - 福岡→出雲 約8時間

- JR出雲市駅より**
- 一畑バス** 市民会館・島根医大・上塩治車庫行-島根医大病院下車
  - 市内循環左まわり(150円バス)・上塩治車庫行-島根医大入口下車
  - 須佐行 島根医大病院下車(2番のりば)
  - ※須佐行は、朝夕の便で經由しない便もありますのでご確認ください。





人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学

国立大学法人 島根大学概要 2011-2012

編集・発行／島根大学広報室(総務部総務課)  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL. (0852) 32-6011

<http://www.shimane-u.ac.jp>

E-mail: [webinfo@jn.shimane-u.ac.jp](mailto:webinfo@jn.shimane-u.ac.jp)



学 章

総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、  
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉を本で象徴しています。